

会長のページ「JMAT」派遣協力に対する御礼と東日本大震災	稲倉 正孝	3
日州医談 医療保険委員会の活動と問題点	上田 章	4
JMAT 活動報告(その 2)		6
牧原 真治, 木村 俊之, 長野 健彦, 松田俊太郎, 弘野 修一		
エコー・リレー(430)	影山 均, 上園 繁弘	17
メディアの目 東日本大震災に思う	大村 俊哉	20
宮崎大学医学部だより(感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)	中西 悠	24
専門分科医会だより(外科医会)	東 秀史	25
ニューメンバー	杉本 隆史, 上田 厚登	41
診療メモ 骨粗鬆症	松本 英裕	62
宮崎県感染症発生動向		
あなたできますか?(平成 22 年度医師国家試験問題より)		18
各都市医師会だより		21
保険医療機関の指導計画等打合せ会		22
九州医師会連合会第 31 回常任委員会		26
日医 FAX ニュースから		29
薬情報センターだより(289) 新薬紹介(その 47)		30
職員紹介(その 1)(事務局長, 総務課)		32
理事会日誌		33
ベストセラー		34
県医の動き		38
会員の異動・変更報告		39
ドクターバンク情報		42
行事予定		45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		49
あ と が き		51
~~~~~		
告 知 第 154 回宮崎県医師会定例代議員会開催		68
ご 案 内 平成 23 年度第 6 回宮崎県医師会定例総会・第 63 回宮崎県医師連盟大会		16
お 知 ら せ 第 12 回宮崎県医師会医家芸術展		40
はまゆう随筆原稿募集		44
宮崎県医師会メーリングリストのご案内		61
平成 23 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い		61
郡市医師会への送付文書		65
		66

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 写真〕

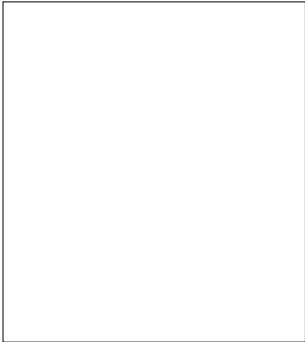
清和

宮崎は早期栽培で田植えの時期が早いため、5 月には水の張った田んぼに植えられた苗が成長しています。その田んぼの中を、日南線の観光特急「海幸山幸」が軽快に駆けていく、そんな日常の一コマ。いつも変わらない毎日の風景。変わらないからこそ、失われないように大切にしていきたいものです。

宮崎市 木佐貫 冬 星

## 会長のページ

## 「JM A T」派遣協力に対する御礼と東日本大震災

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

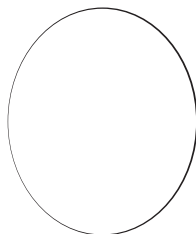
日州医事第 741号(平成 23年 5 月号)の荒木早苗県医師会常任理事の報告にあるように、宮崎県医師会は日医の要請を受け、3月1日の平田東九州病院第1チームを皮切りにJM A T 20チームを宮城県を中心に派遣することができました。JM A Tに参加していただいた方々、留守をしっかりと守っていただいた皆様に衷心より感謝申し上げます。JM A Tの活動は順次、日州医事等で報告させていただいております。

県医師会員の皆様には、日医から要請のあった東日本大震災対策費用を特別会費としてA会員より徴収させていただくことを了承していただき深く感謝しております。また、JM A Tの移動、宿泊等の活動費用、震災当初は医薬品及び医療材料等も各自が負担する自己完結型になっていました。本会としては、できるだけ活動費用を補助したいと考え、また派遣の長期化が見込まれる状況の中で重ねて県医師会全会員に派遣費用の支援をお願いいたしました。医療環境の厳しい中、厳しい経済状況にも関わらず、会員の皆様方のご理解を賜り、予定額以上の寄付をいただくことができました。重ね重ね御礼申し上げます。後日、全ての清算が終わった段階で、会計報告をさせていただきます。

今回のJM A T派遣は、日本医師会としてはほとんど初めての大規模な医療支援活動でした。全国のJM A Tの活動状況は5月30日現在、派遣中(派遣済みを含む)は1,166チーム、派遣準備中は4チームとなっており、国民、行政からも高く評価されており、概ね成功であったと評価できていると思っています。宮崎県医師会JM A T支援は現地での医療体制が整ってきたので、宮城県医師会、七ヶ浜町の鹿島先生(開業医)と相談の上、6月2日で終了することになりました。ご協力に深謝いたします。

マグニチュード 9.0という巨大地震、場所によっては高さ 40メートルを超えるという巨大津波、加えて原子力発電所の事故という天災・人災の混じった大変な複合災害であった東日本大震災は私共に大きな教訓を残しました。同じような震災は日本各地で起こり得ることが分かりました。今こそ、巨大地震及び巨大津波に対する十分な対策を講じるとともに、原子力発電所の安全性の問題を含めてエネルギー問題を根本から議論する必要があると考えております。(平成 23年 5 月 30日)

## 日州医談



## 医療保険委員会の活動と問題点

理事 うえ だ あきら  
上 田 章

医療保険委員会では、保険指導への関与、保険診療の手引きの作成、保険診療の要望事項の取りまとめ等を行っている。

保険指導は、「健康保険法」等、厚生省令「保険医療機関及び保険医療担当規則」、通達「指導大綱」および通達「指導大綱関係実施要領」に基づいて、九州厚生局宮崎事務所、宮崎県福祉保健部国保援護課等によって実施されており、適切な指導がなされるように当医師会の担当役員が立ち会いを行っている。詳細は随時日州医事に掲載されている。

「集団指導」は、新規指定の保険医療機関および新研修医を対象に実施されているが、特に問題は指摘されていない。また、診療報酬改定時にはすべての医療機関を対象に集団指導というよりも説明が行われるが、これは必ずしも出席しなければならないものではない。

「新規個別指導」は新規指定の医療機関に対して、病院では 20 名分、診療所では 10 名分のレセプトを対象に個別に指導がなされ、請求に誤りがある場合には指導の対象となったレセプトに関してのみ返還とされる。これは行われていない県も多く、指導大綱には示されていないが、日医の「指導の取り扱い」には規定されている。県医師会としては、医療費削減の手段とせず保険診療の徹底を目的とし、自主返還は求めないことを要望している。

「集団的個別指導」は 30～ 400 の医療機関を対象

に個別部分は省略され、集団部分のみが実施されている。

「都道府県個別指導」は当県では概ね 300 の医療機関が対象となる。選定基準には 7 項目あり、いずれの項目に該当するかは示されないが、集団的個別指導を受けた医療機関が翌年度も高点数であった場合および情報提供によるものが多いようである。情報提供は匿名のものは受け付けず、十分に真偽を調査されるようである。請求の誤りがあった場合には自主点検を行って 1 年間の該当分の返還となる。ほかに、「共同指導」および「特定共同指導」があり、本県では数年に 1 回程度実施され、上記の機関に加えて本省が行うものである。

以前から問題となっているのが「集団的個別指導」の選定基準である。現行では、類型区分において高点数の医療機関が対象となっている。類型区分は病院 4 区分、診療所 1 区分のみであり、診療の実態を反映していないとの批判がある。高点数は必ずしも過剰診療とは言えずむしろ最新の知見を踏まえた診療ということでもある。類型区分および平均点数の資料はすべて本省にあって決定されているようであるが、データは示されない。情報開示に問題があるとの批判もある。

現在、中央で指導大綱の見直しが検討されているが、どのように見直すかが問題である。指導自体を廃止することは不可能であるので、指

導の目的である 保険診療の質の向上 保険診療の適正化, のうちの前者すなわち, 保険診療の理解を深めるための指導に重点をおき, より公平な選定基準で, 萎縮診療をきたさないような改正をお願いしたい。見直しは必要ではあるが, 具体案の作成となるとなかなか難しい。類型区分を, 院内処方か院外処方の別, 高価な治療薬剤の使用および透析の有無などを勘案してより精緻な選定基準を作成するか, すべての医療機関を公平に順番に対象とするか, あるいは, これらをミックスするかなどが考えられる。抜本的改革との意見もあるが, 抜本的とは具体的に示されなければ評価も困難であり, 保険者の意向や医療費抑制への圧力などによって, 指導が強化されることも十分にありうるので, 注意が必要である。

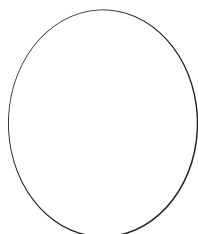
次に, 指導における立ち会いの経験を述べる。本県の指導の態様は経験した範囲では概ね適切と思われる。指摘事項はいつも同じような事項が多い。事務に関しては, 入院診療計画は医師だけでなく看護師等と共同で作成すること, 施設基準および医師等の届け出を正しく行うこと, 保険外負担その他の院内掲示を正しく行うことなどである。看護に関しては, 看護師, 看護補助者および病棟クランクの人数および勤務時間を正しく把握することなどである。診療に関しては, 無診察診療は認められないこと, 診療録(1号用紙)には医師が記録すること, 特にリハビリテーションに関しては医師が適切に関与し診療録に記載すること, 医学管理料の算定にあたっては診療録に検査結果・評価・治療方針を記載すること, 指導管理料も同様に医師の適切

な記載が必要であること, などが指摘される。

「保険診療の手引き」は, 審査基準を示すこと, 社保と国保の審査基準の格差を少なくすることなどを目的に作成した。手引きは少し分量が多くなってしまった感もあるが, 関係のある箇所だけをみるのであればそう多くない分量ともいえる。利用にあたってはあくまでも標準的な基準であって, 必ずこの範囲のものが認められるとも言えないし, 逆にこれ以上は査定であるとも言えない。最終的には, 「医科点数表の解釈」や薬剤の用法用量等に合致し, 医学的に合理性があるかどうかということであると思う。また, 関係法令として, 健康保険法, 療養担当規則, 指導大綱なども掲載されているので, 活用していただきたい。

最後に, 平成 24年度は医療保険と介護保険の同時改定の年である。県医師会ではすでに各都市医師会および各専門分科医会からの要望を取りまとめて九州医師会連合会に提出し協議が行われ, 要望書が中央に提出された段階である。医療費全体的大幅な引き上げ, 中小病院や診療所の基本診療料の是正, 特に再診料・外来管理加算・地域医療貢献加算・入院中患者の他医療機関受診・入院医療機関の入院基本料の減額問題の是正, 医療と介護の接点領域の整備が中心となると予想されていた。しかしながら, 3月11日の東日本大震災の甚大な被害が明らかになるにつれ状況は一変した。国の借金と財源問題によって再び医療費適正化(抑制)の議論が強まってくるとともに, 同時改定を中止する考えなども提案されており, 先は読めない状況である。

## 報 告



## J M A T 活動報告 第 6 班

活動期間 平成 23 年 4 月 7 日 ~ 4 月 12 日

活動場所 宮城県

宮崎市	宮崎善仁会病院	まき	はら	しん	じ
		牧	原	真	治
	同 看護師	黒	金	真由美	
	和田病院 看護師	富	山	由美	
	同 看護師	古小路	初	美	
宮崎市消防局	救急救命士	加	藤	尚	志

2011 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分、東北地方太平洋沖地震が発生した時刻、消防署内で MCLS という「多数傷病者対応」の講義の最中でした。消防職員が対象であり、出勤がかかった場合にはそちらが優先になるという前提で講義をはじめたのですが、津波警戒のため全員に出勤命令が出て、講義は中止となってしまいました。まさに、災害対応の講義中に起こった災害でした。

さて、私は「統括 DMAT」の教習を受けていますが、宮崎善仁会病院が DMAT 派遣医療機関でないため、そのまま DMAT として出勤するのは困難な状況でした。こうした災害に役立てることが目標だったわけで、形は変わっても JM AT として災害現場に派遣してもらえたことは、救急を専門にしている者としてはありがたいことでした。

我々は、医師 1 名、看護師 3 名、業務調整員として救急隊員 1 名で、宮城県 JM AT 第 6 チームとして 4 月 7 日から 12 日まで宮城県七ヶ浜町に派遣され、医療活動を行ってきました。前後の移動日があるため実質 4 日間の活動です。活動期間中に発災 1 か月を迎え、亜急性期から慢性期にあると考えられました。

活動中の大きな出来事は、震度 6 強の最大余震に見舞われ、停電下での活動を強いられたことでした。七ヶ浜は、仙台中心街から比較的近く、津波による被害は受けたものの、橋が流されたわけでもなく、比較的援助は届いていた地域だったようです。発災直後には 10 か所前後の避難所がありましたが、我々が到着した時点では、5 か所に統合され、4 か所の診療所が開設されていました。松ヶ浜中学校で医療活動を行いましたが、ちょうど 4 月で学校再開のため、この避難所も中央公民館に統合される計画でした。また北海道チームが医療活動をしていた避難所( ^{えきらく} 亦楽小学校 )の医療活動の受け継ぎ、避難所統合に伴う準備を行うことになりました。

避難所統合は、行政機関のスタッフにとっても大変ですが、避難所の医療支援隊にとっても大変です。行政側は、阪神淡路の経験に基づき、地域のコミュニティを保てるように元の居住地地域毎に避難所を決めて行く方針とし、避難所を移転するときに、居住地毎に分割して移動させる方針を示しました。そのため住所毎にカルテを仕分ける必要が発生しました。記録されたカルテを見ると、患者氏名は書かれているが、

住所が書かれていないものがあったり、病名が記載されていないもの、問診票にメモ程度の記載しかないものなど、診療録には多くの問題がありました。

七ヶ浜町での活動は、宮崎県のチームが一番最後まで継続する予定であったので、宮崎チームからカルテの様式を統一するよう申し入れ、クリアファイルに1名ずつのカルテを作り、通常診療でも使うような0号用紙を挟み、表紙を見れば病名が分かるようなものを考案し、持ち込みました。宮崎県JMATのカルテ270名分、北海道から受け継いだ亦楽小学校130名分の整理を行い、これが我々のチームの一番の仕事でした。後に入ったチームはこのカルテで助かったと聞いており、やった甲斐があったと思います。

さて、JMATの災害派遣は今回の震災での活動が初めてだったわけですが、うまくいった点、なかなか意図したように出来なかった点があったように思います。災害医療の基本原則は、MIMS(イギリス発の災害医療の実技型講習。DMATにも取り込まれている)にあるように、CSCATTTを考えて動くことです。

Command & Control: 指揮命令系  
Safety: 安全  
Communication: 通信  
Assessment: 評価  
Triage: トリアージ  
Treatment: 治療  
Transport: 搬送

一番の問題は、指揮命令系がうまく機能できなかったのではという点です。医師にとって「指揮・命令」というのは最も不得意な分野だと思います。JMATにもDMATのように指揮命令をとる「統括JMAT」なるものが必要なのではと思います。統括JMATが現地の行政機関と協力してCSCATTTを行っていくことが重要だと思います。今回の宮崎JMATのトップバッターは、平田東九州病院の長井先生で、DMATの講習も受けられており、MIMSも十分理解されており、こうしたスタッフが統括にふさわしいと思います。

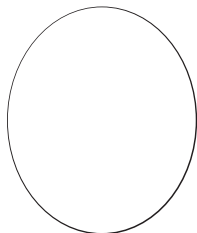
チーム構成について、複数の業種のスタッフがいることが、現地業務を円滑にします。第4隊で同行していただいた、九州保健福祉大学の薬剤師の徳永先生は、現地での薬剤管理に多大な貢献をしていただきましたし、診療情報管理士の資格を持つ私も、カルテ管理に貢献できたものと思います。

こうしたことを立ち上げのときにきちんと運営することができると、後発隊が楽になります。統括に人を出すことや立ち上げ時の業務の多さを考えると、トップバッターには1チームだけでなく2チームを出し、DMAT受講者・薬剤師・診療情報管理が出来るスタッフが業務を行うことを提案したいと思います。

最後に、災害時の対応を勉強するために、宮崎県医師会としてMCLSやMIMSなどの講習会を開催できたら良いなと思います。

( 牧原 真治 )

## 報 告



## JM A T 活動報告 第 7 班

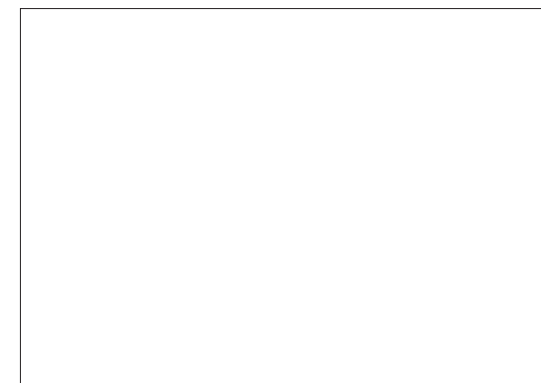
活動期間 平成 23 年 4 月 11 日 ~ 4 月 16 日

活動場所 宮城県

宮崎市 宮崎市郡医師会病院 ^き木 ^{むら}村 ^{とし}俊 ^{ゆき}之  
おがわクリニック 看護師 小 川 真由美  
同 看護師 高 濱 さつき  
宮崎市消防局 救急救命士 濱 畑 貴 章

今回、宮城県医師会の災害医療チーム(JM A T)の第 7 班として、宮城県七ヶ浜町にて医療支援活動をさせていただきました。報告に先立ち、今回の派遣に際し多大なご配慮とご協力をいただいた宮城県医師会、宮崎市郡医師会病院、そして第 7 班のメンバーの方に心からの感謝を申し上げます。

私は 3 月まで北海道の病院に勤務しており、この 4 月から宮城県に赴任の予定でした。しかし今回の震災で宮城県石巻市にある実家が被災に遭ってしまったのです。赴任の時期を延期させていただいた上で、3 月 30 日に石巻へと向かいました。そこに今まで見慣れたはずの景色はなく、病院は診察や薬を求める患者と、多くの医療スタッフ・ボランティアの方たちであふれていました。医師として、自分にも何かできることがあればと、災害拠点病院である石巻赤十字病院や市役所、ボランティアセンターに医療ボランティアを申し出ましたが、震災直後の混乱の中、個人での活動は簡単には受け入れてもらえませんでした。そんな中、病院の方から今回の派遣のお話をいただいたのです。このような機会をいただき本当にありがとうございました。また現地で合流する形となってしまった班のメンバーの方にはご迷惑をおかけし

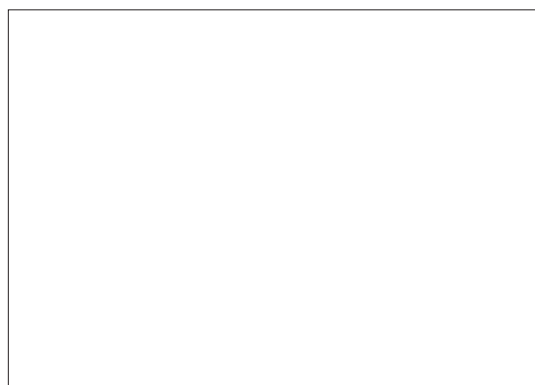


ました。

われわれの活動初日はちょうど地震から 1 か月目の 4 月 11 日でした。当時七ヶ浜町は 5 か所の避難所に宮城県・北海道・島根県の 3 つの医療班が常駐しており、宮崎 JM A T は松ヶ浜小学校(当時避難者数 124 名)と赤松小学校(同じく 107 名)の 2 か所を担当していました。1 か月が経ち、ライフラインの復旧や支援物資供給の安定により、避難所内の衛生・環境面は落ち着きつつある状態だったように思います。診療は 1 日 20~30 名前後で、その多くは不眠症や高血圧、屋外作業での外傷といった方たちでした。また時期的なものが、花粉症と思われるアレルギー性鼻炎・結膜炎の方も多くいましたが、インフルエンザや感染性胃腸炎といった感染症の蔓延がなかったのが幸いでした。ボランティアの方たち

も多く避難所に入ったり、深部静脈血栓症予防の体操を行ったり、子どもたちと校庭で遊んだりといった光景が連日みられました。

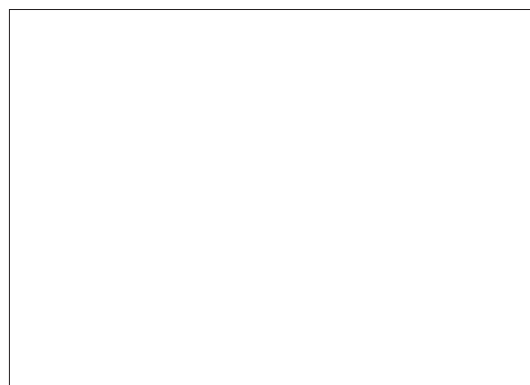
その一方で、避難所の方々からは今後の不安も多く聞かれました。当時の避難者はみな、家を津波で失った方、漁船や漁具のすべてを失い仕事をなくした方たちであり、いつかは避難所を出ていかなければならないがそのあてが全くないといった方たちばかりでした。今後の中長期的展望が望まれる時期でした。



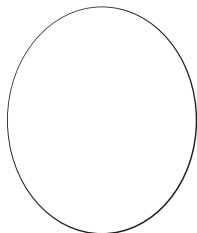
そんな中、活動3日目の4月13日に宮崎・島根・北海道の医療チームと地元かしま田園クリニックの鹿島先生、七ヶ浜町健康増進課の渡辺係長を交えた合同調整会議が行われました。議題は4月15日に控えた避難所の統廃合と今後の医療支援体制についてです。小中学校の授業再開に向け、当時の避難者約750名を町内2か所の避難所に統合する必要がある、それに伴い現在3つの医療チームが常駐する中でその分担をどうするかが話し合われました。結果、われわれ

宮崎JMATと島根県医療チームが2つの避難所をそれぞれ担当し、4月19日で撤退が決まっている北海道医療チームにはそれまでの間、町職員全員の健診をしていただくこととなりました。今回のような大きな災害では、地域の医療者も行政職員もまた被災者です。にもかかわらず彼らは震災後不休で働き、なかには過労で倒れた方もいたようです。精神面のケアを含めた町職員の健診はその場にいた全員が望むものであり、今回それを実現できたことは災害医療支援のひとつのかたちとして今後につなげることができるものと考えます。

4日間の活動はあっという間に過ぎていきました。宮崎に着いた今も、メーリングリストでその後のJMATの活動報告を読み、仮設住宅への入居など一日一日復興していく現地の様子を感じうれしく思っております。今回の貴重な経験を今後の医療活動に活かしていくとともに、今後も何らかのかたちで被災地への支援を継続していければと思っております。(木村 俊之)



## 報 告



## J M A T 活動報告 第 8 班

活動期間 平成 23 年 4 月 15 日 ~ 4 月 20 日

活動場所 宮城県

宮崎市 宮崎善仁会病院 ^{なが}長 ^の野 ^{たけ}健 ^{ひこ}彦  
同 看護師 河 野 孔 美  
同 看護師 佐々木 直 美  
和田病院 看護師 葉 上 絹 子  
潤和会記念病院 理学療法士 小 川 晃一郎

はじめに

チームの目標として以下の項目を予め設定し  
Meetingを行い現地での活動を行った。

- ・合併したばかりの中央公民館での診療体制を確立する。
- ・避難所の環境衛生の整備を行う。
- ・地域医療との連携を深める。
- ・避難所での PT の Utility を評価する。

実際に行った活動内容は 中央公民館の状況把握，施設内に診察室を開設し 1 日 3 回の診療（1 日 5 時間ほど），国際村での代診，施設内の環境衛生整備，関係各所との調整，PT によるリハビリ，廃用症候群予防である。

中央公民館の状況把握

4 月 15 日，松ヶ浜小学校の避難所が統廃合され，避難者約 100 名が中央公民館へ移動し約 400 人の被災者が中央公民館で生活することになった。多くの避難者は自宅が全壊し家を失った方々で 60 歳以上が 70% を占め，小中高生は約 40 人という内訳であった。一部屋に 2 ~ 3 世帯（約 10 名前後）が寝泊まりしており，部屋によっては 70 人以上いる部屋もあり，複数の地区から被災者が集まっているため避難者間でも

混乱がみられる状況であった。

診察室の開設

施設内の一角に診療所を開設した。避難者の認知度を考慮し前任の北海道チームが使用していた場所をそのまま使用した。プライバシーを保護するためにカーテンや間仕切りを設置するなどして工夫をほどこした。診療前に全部屋を回診し体調が悪い方を拾い上げ受診を促し，同時に感染症の流行や衛生環境の向上に努めた。診療は 9 00~ 11 00，14 00~ 16 00，18 00~ 19 00 の 3 回に分けて行い，1 日 20~ 30 名が受診した。全部屋で上気道炎，感冒が流行しており，また七ヶ浜地区では花粉症の最盛期であり患者が多かった。

またカルテに患者が滞在する部屋を記載するようにして部屋ごとに感染症の流行がないか早期発見できるようにした。ある部屋では嘔吐，下痢症が流行したため隔離部屋を作ってもらい患者を隔離することで拡大を阻止できた。

国際村の代診

車で 5 分ほどのところに「国際村」という避難所があり約 300 人が滞在していた。島根県医療チームが滞在していたが，チーム交代のために 3 日

に 1 日不在日が存在していた。島根チームと連携を取り、不在日に国際村の代診を行った。

#### 施設内の環境衛生整備

看護師は診療の介助、補佐、薬剤管理とともに施設内の環境衛生整備も行った。具体的には手指消毒剤の設置数増加、うがい薬の設置、消毒のタイミングの指導、換気の励行、トイレの使用状況についての衛生面改善などを行った。施設の責任者に提言し、役場に状況報告を行い、ある程度の環境改善に貢献できたと思われる。しかし、診療や環境整備に時間を取られてしまい、被災者とゆっくり向き合い心のケアまで行うことができなかったのが反省点として挙げられた。

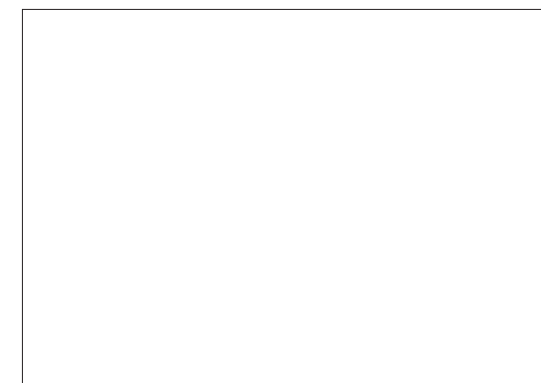
#### 関係各所との調整

関係各所との調整は調整員として和田病院の葉上絹子看護師を中心に行った。慣れない業務であったと思うが、日頃の看護師長として培った調整力は調整員として十分なものであったと思われる。業務内容は七ヶ浜町の避難所総責任者との連携・情報交換、他の医療チームとの協力要請に関する調整、薬の在庫切れに関して宮城県庁薬務課との連絡・薬の調達、地域の開業医との連携、派遣資金の管理・不足物品の購入、チームメンバーの食事の調達など多岐にわたる。調整に際して、相手先が不在・体調不良などで連絡が取れない、土日を含めると役場との連携が取りにくいなど支障をきたす事情がみられたが、円滑な活動ができるように各所との調整ができたと思われる。

#### PT によるリハビリ、廃用症候群予防

今回は潤和会記念病院の小川晃一郎理学療法士を帯同し、診療所で PT として活動した。公民館の状況は震災後 1 か月以上が経過し、自分で動けない方はすでに近隣の病院に入院され、公

民館には早急に離床目的で介入が必要な方はいない状況であった。多くが 60 歳以上の方で日中は仕事や自宅の片付けに外出されていた。避難者の方々は忍耐強く、自らリハビリが必要だと訴えられる方は少なかった。避難所生活で活動性はある程度維持されているが、震災前と比べると活動量としては減っており、T 字杖や膝サポーターなどを津波で流された方が数名いた。部屋単位で声をかけながらリハビリの必要性を判断し、関節可動域訓練、筋力強化訓練・指導、背臥位での姿勢調整（不眠に対して、クッションやタオルを使用することを指導）、T 字杖の導入、動作確認・指導を行った。今後は近隣の病院に受診・治療が必要な方への対応や必要な福祉用具の手配、地域の保健師への報告・連携、医療支援が終了した後の引き継ぎなどが課題として挙げられた。



#### 最後に

今回の JM A T 活動は非常によい経験になった。チームメンバーに感謝するのはもちろんのこと、チームを送り出してくださった病院の医師、看護師、事務の皆様、また医師会の関係者の方々に支えられて活動ができたと思います。この場をお借りして皆様に感謝を申し上げます。

（長野 健彦）

## 報 告

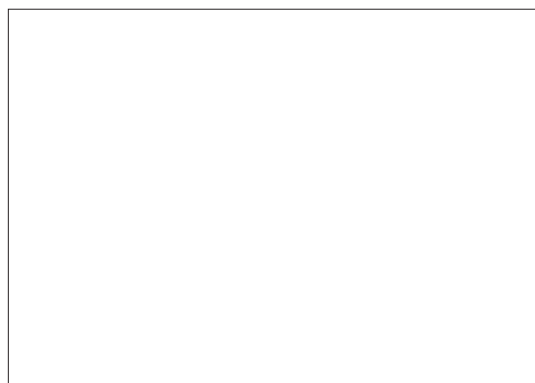
## J M A T 活動報告 第 10 班

活動期間 平成 23 年 4 月 23 日 ~ 4 月 28 日

活動場所 宮城県

小林市 小林市立病院	まつ だ しゅんたろう	松 田 俊太郎
宮崎大学医学部附属病院救急部	医師	白 尾 英 仁
宮崎大学医学部附属病院	看護師	外 山 尚 美
若草病院	看護師	磯 平 博 樹
小林市立病院	理学療法士	清 水 秀 一
西諸広域消防本部	救急救命士	池 上 務
宮崎大学医学部	事務	外 山 公 司

4 月 23 日から 28 日まで、東日本大震災により壊滅的打撃を受けた宮城県七ヶ浜町の中の避難所のひとつである、七ヶ浜町中央公民館での医療支援を行いました。私たちの班は、非常に頼もしい人員構成(医師 2 名、看護師 2 名、理学療法士 1 名、救急救命士 1 名、事務 1 名)で、その力を総動員して精力的に活動することができました。



## 被災地をみた印象

移動時に、仙台空港周辺、七ヶ浜町に向かう高速道路からみえる風景は、高速道路を境に天と地ほどの差があり、想像を絶するものでした。私たちが派遣された震災発生後 1 か月半が過ぎ

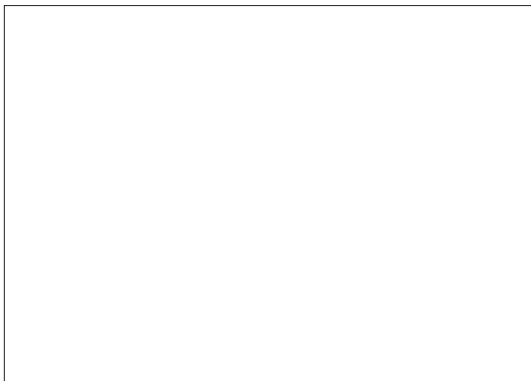
た時期は、一見するとかなり復興も進み、小中学校の授業も再開されていました。しかし、疲れ切った自衛隊員の斉遺体捜索が続くがれきの中を、毎日自転車や徒歩で通学する生徒達の姿や、話し出すと泣き出す被災者には、掛ける言葉がありませんでした。

## 医療支援について

震災発生後の急性期では、援助者側も非常に過酷な生活環境の中で、また不足する物資を駆使して医療支援を行ったのではないかと思います。一方で、私たちが担当した時期は十分な医療物資も整っていて、かなり慢性疾患への対応へ役割が変化していました。この時期の医療支援では、援助する私たちは、これ以上頑張れないほど頑張っている避難者のニーズに謙虚に耳を傾けていかなければいけないと思います。私たちはそれを実践するために、看護師および理学療法士を中心とした 1 日数回にわたる巡回や、避難所の朝夕の配膳に立ち会うことにより、体調が悪くても上手く私たちに伝えることができない多くの避難者を見つけ出すことができました。また、避難所の突然の脳梗塞患者には、救急救命士が先頭に立って迅速な対応を実践することができました。さらに、役場の保健師らと

協力して理学療法の必要な避難者のリストを作成することができました。微力ではありましたが、避難所の被災者の皆様に、何らかの貢献ができたのではないかと考えています。この時期の仮設診療所の患者対応は、長期の避難所生活による血圧や血糖の上昇、不眠およびほこりの多い環境による呼吸器障害などが主でしたが、心の不安を打ち明ける患者も多く見受けられました。また無邪気に遊ぶ子供たちが実は両親を亡くしていることなど、言葉に詰まることもありました。

宮崎県 J M A T が同じ避難所に継続して支援を实践できたことは、とても素晴らしいことだと思います。一方で、多くの班が短期間で交代しながら医療活動を行うと、かなり多くの薬剤、物品があふれてきて、整理が必要になってくることもわかりました。急性期から慢性期に移行したこの時期に余裕をもった人員を確保して派遣できると、一旦いろいろなことの再整理ができると思います。また、急性期の支援は短期間でたくさんの医療ニーズに応じた対応を実践していく、慢性期の支援は 3 ～ 4 日といった短期間ではなく、より長期間滞在して医療活動を実践していく方が、避難所の皆さんもいろいろな相談ができるのではないかと思います。恐らくこの時期に派遣された方々は、皆“せっかく慣れてきたので、もう少し滞在できたらよりいい支援ができるのに”と感じられたことと思います。



#### 避難所の印象

今回の震災でたくさんの避難所ができました

が、今回担当した七ヶ浜中央公民館は比較的にきれいで、きっちり生活ルールも守られていて、交通アクセスもいいために物資も届きやすく、言葉は的確ではないかもしれませんが、いい避難所であると思います。とはいえ、ほこりもだいぶ多く、若干のもめごともあり、十分な食事はあるもののやはり炭水化物中心で、多くのボランティアの炊き出しも炒め物や麺類など高カロリーの食事が多く、避難者もこの食生活にはかなり疲れているようでした。その中で、黙々と仕事を続ける自衛隊や掃除を続けるボランティアには非常に感銘をうけました。

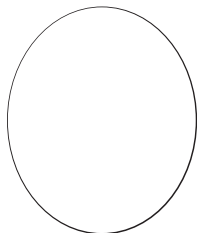
#### 今回派遣された私たちの責務

今回派遣の機会を運よく与えて頂いた私たちは、いつか宮崎でも起こりうる自然災害に対して、今後積極的に対応策を考えていかなければいけないし、また万が一災害が起こった時には、先頭に立って医療支援を実践していかなければいけないと考えます。そのため、この機会を利用して、私たちも実際に『震災を学ぶ』ために、活動の合間にはピブスを脱いで、班員はそれぞれ、積極的に被災地の見学および被災者との対話を実践しました。重機で積み上げられたがれきの山や、跡形もなく流された住居跡など、想像以上に悲惨な状態をみて、また深く被災者の心情をくみ取っていくことで、どれだけ科学が発達しても、人間は、決して自然災害をおさえることはできないことを目の当たりにして、また想像を超えた被災者の心境を知ることができました。今までの当たり前の毎日が、実は当たり前でないということを肌で感じる事ができたのは、私たち自身にとって大きな収穫であったと考えています。

東日本大震災により被災された地域に対して、これからも全国民の継続的な支援が必要であることは間違いありません。口蹄疫や新燃岳噴火などへの対応に苦慮している宮崎県民も、被災地域、被災者に対して、自分たちのできる範囲で、少しでも、何らかの支援を継続していく必要があることは言うまでもありません。

( 松田 俊太郎 )

## 報 告



## J M A T 活動報告 第 12 班

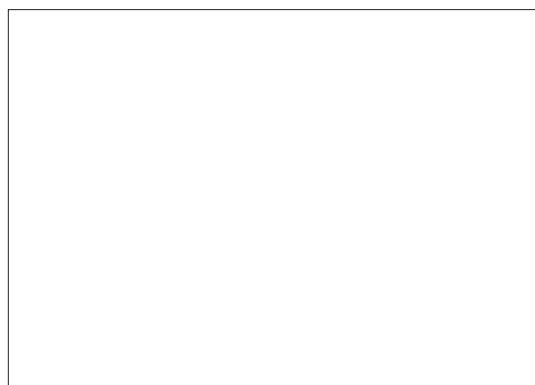
活動期間 平成 23 年 5 月 1 日 ~ 5 月 6 日

活動場所 宮城県

宮崎市 ひろの内科クリニック ひろの しゅう いち  
弘 野 修 一  
同 看護師 矢 野 トモ子  
和田病院 看護師 黒 木 美 枝  
黒木病院 理学療法士 中 武 真 也  
ひろの内科クリニック 事務 鏡 理江子  
宮城県医師会 事務 小 川 道 隆

## はじめに

多くの救急医療経験を積んだ病院のスタッフが宮城県医師会 J M A T (以下宮崎 J M A T) 活動に参加された中、我々のような内科診療所の混成チームもこの活動に加えていただいたことに感謝いたします。本稿ではどのようにして我々のチームが結成され、現地で活動できたかということを報告したいと思います。



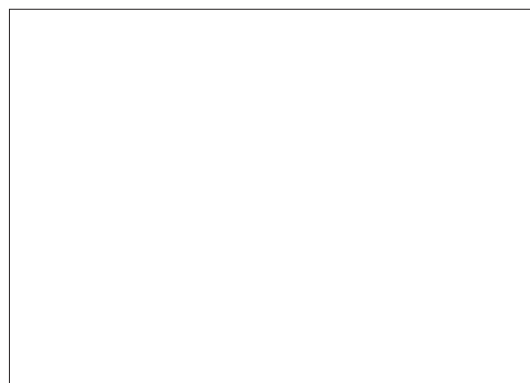
## チーム結成から出発まで

小学校から高校まで神戸で過ごした私にとって、平成 7 年に起きた阪神淡路大震災の際は友人、親戚が被災しながら何もできず忸怩たる思いがあった。3 月 11 日午後 2 時 46 分に起きた東

日本大震災はクリニックの外来診療中に知った。待合室のテレビを見ていると宮城県沿岸部の広大な田畑を巨大な黒い波が内陸に向かい、ビニールハウスや多くの家々、車を飲み込んでいく映像が目飛び込んできた。被害の状況が明らかになるにつれ、先の大震災を思い出して何かしたい、何かしなくてはと思うようになった。3 月 15 日、県医師会からの FAX で日本医師会が被災地に向けての医療支援活動 (J M A T) を立ち上げたのを知り、当院としても J M A T に参加しようと決めた。とは言っても医師が 1 人の診療所である。外来を長期間閉めるわけにはいかないのでゴールデンウィークを利用し 2 日間休診して、現地で活動することにした。職員全員が参加したいと言ってくれたが、種々の事情から当院からは医師 1 名、看護師 1 名、事務 1 名で参加することにした。看護師はもう一人必要なので県医師会を通じて依頼したところ、日向市和田病院から黒木看護師に参加してもらうことになった。また避難所では高齢者の廃用症候群を予防するために理学・作業療法士の要望が大きいため、宮崎県理学療法士会を通じて参加

を募り、延岡市黒木病院の中武理学療法士が参加してくれることになった。これで人員はそろったが、問題は他にもいくつかあった。一番の問題は私には救急医療の経験がないことである。医師会事務局に尋ねると現地では慢性疾患や風邪などの診療が主であることを教えてくれた。また善仁会病院の廣兼先生に相談したところ、「まずは行って活動しようという熱意が大事だ」と背中を押され、小外科的治療の見学も快諾していただいた。また宮崎 J M A T のメーリングリストも情報の収集、共有に大いに役立った。次の問題は混成チームでのチームワークをどう築くかだ。初対面のメンバーが多く、しかも皆初めての任務である。それぞれ不安に思っているに違いない。出発前にぜひ一度会っておきたいと思い 4 月 2 日の夜に全員が日向市に集合し顔合わせを行った。なぜ J M A T に参加するのか一人一人の思いを聞き、それぞれの役割について確認した。そしてチームとしての心構えは、予断・先入観を持たずに行き現地の状況を自分たちの目で確認しよう。そして自分の役目だけにとらわれず何でも仕事を見つけて行動しようということを決めた。その席で県医師会事務局の小川氏も宮城県医師会との打ち合わせで現地まで同行されることを知り一同安堵したことを覚えている。マニュアルを全員に配布し、院内では待機職員も含めて勉強会を 2 度行った。次の問題は留守中の外来患者の対処だ。肝臓病の患者に何かあった場合は、連携している宮崎医療センター病院で診ていただけるように依頼し、その他の場合は一番近い南部病院で診ていただくことにした。院内に休診の掲示をし、またその頃に受診しそうな定期処方患者には前もって電話連絡をしておいた。我々が出発の準備をしている間に宮崎 J M A T が常駐していた松ヶ浜小学校避難所が中央公民館避難所に統合された。それに伴い活動場所も中央公民館に変わり、J M A T

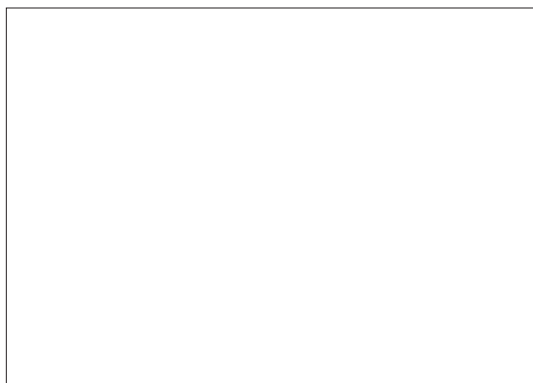
の居住スペースがなくなったため近くの旅館に宿泊することになった。これにより食事や入浴の心配がなくなり、かなり負担が軽減された。



#### 現地での活動

5 月 1 日、宮崎空港から羽田を経由し山形空港に着陸。ジャンボタクシーに乗換え仙台市内を経て七ヶ浜町に向かった。仙台市では瓦が落ちて屋根にシートをかぶせている家屋が見られたが倒壊している建物はなかった。しかし海に近い平地では津波のためにがれきが散乱していた。七ヶ浜町に入ると低い土地は見渡す限りがれきと化して一段とひどい状況だった。避難所での我々の活動は前任の各チームが既に軌道に乗せていたため、スムーズに引き継ぎができほとんど困難を感じなかった。各チームとも医療だけでなく朝の炊き出しの配食の手伝いなどしており、皆さんに好感を持たれていたように思う。理学療法士や看護師は午前、午後に各部屋を回り、マッサージをしたり、血圧を測定したりしながら避難者の状態把握に努めた。問題のある方には受診を促し、それが新たな疾病の発見につながった。診療内容は高血圧、糖尿病などの慢性疾患の診療と風邪、胃腸炎などの感染症が主で、たまに釘踏み外傷の治療などであった。なかには津波で家族を失って一人になり不眠を訴える人などもおり、精神的ケアの重要性も感じられたが、幸い現地では週 1 回東北大学精神科から巡回診療に来ていてカウンセリング

などを勧めることができた。また七ヶ浜町での活動開始早々に M R T 取材班と遭遇し取材を受け、それがニュース番組で放送された。県民の皆様に被災地の様子や J M A T 活動について知ってもらえたことは良かったと思う。



J M A T 活動を終えて

今回の被災地における医療支援活動では比較的早期から内科医でも支援に参加できたと感じた。それには今回の震災直後のトリアージでは黒と緑が多く赤や黄色のカテゴリーが少なかったという特殊性が関与している。長期化する避難所における医療支援活動には継続性が重要である。宮崎 J M A T のように一系統の医療団がメーリングリストなどで情報を共有しながらバトンをつなぐように支援することが实际的であろう。また開業医が J M A T に参加することは後方支援さえしっかりできていれば可能である。今回すばらしいメンバーに恵まれたこと、後方支援していただいた諸氏・諸施設に心から感謝したい。

( 弘野 修一 )

## 告 知

### 第 154 回宮崎県医師会定例代議員会開催

と き 平成 23 年 6 月 20 日 ( 月 ) 19 : 45 ~

ところ 宮崎県医師会館 2 階研修室

#### 次 第

- 1 . 議長開会宣言
- 2 . 議事録署名人選出
- 3 . 県医師会長挨拶

#### 4 . 報 告

- 1 ) 平成 23 年度事業現況について
- 2 ) その他

#### 5 . 議 事

議案第 1 号 平成 22 年度宮崎県医師会各会計  
収入支出決算に関する件

#### 一般会計

#### 福祉特別会計

#### 会館管理特別会計

#### サービス評価事業特別会計

#### 介護サービス調査機関特別会計

#### 治験促進センター機構特別会計

#### 6 . 協 議

#### 7 . その他

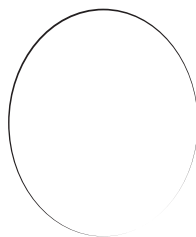
#### 8 . 議長閉会宣言

## エ コ ー ・ リ レ ー

( 43回 )

( 南から北へ北から南へ )

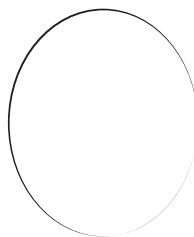
## 有床診療所から

宮崎市 影山内科医院 かげ やま ひとし  
均

当院は 19床を療養病床の設置基準に合わせて改修し、介護型療養病床 8 床，医療型療養病床 4 床，医療一般病床 1 床の合計 13床で運営しています。外来職員の他に，病棟職員 8 名，理学療法士（午前のみ）

1 名，調理師 3 名が働いています。対象疾患は脳血管疾患，OPLLやALS，パーキンソン病，COPD，悪性腫瘍などです。短期入院予定でも入院が長期化しやすく，病棟稼働率を維持できないためショートステイ専用の病床はありません。外来患者を随意に入院させられず忸怩たる思いをすることがあります。療養病床は，急性期病棟の受け皿としての位置付けですが，患者にとっては家族の近くで長期療養できる利点があります。要介護 3 以上で，精神身体症状がある患者を在宅医療に移行することは，高齢化した家族にとって容易ではありません。政府方針どおり本年 3 月末まで，介護関連施設への転換を検討してきました。近隣の介護サービスとは連携しており，転換できるのならば全て医療型療養病床にしたいと考えています。政権交代によって，介護型療養病床の廃止が 6 年間据え置かれました。東日本大震災の傷跡が残る被災地を思いつつ，病棟のあり方を見直しているところです。災害時を含め有床診療所が地域医療計画の中でどのように評価されるのか見守りたいと思います。有床診療所をしていてほっとするのは，在宅ケアで疲れていたご家族が，笑顔で見舞いに来られるときです。

〔次回は 宮崎市の佐々木 隆先生にお願いします〕

大きく声を出して・  
うたっていい気分宮崎市 県立宮崎病院 うえ その しげ ひろ  
上 園 繁 弘

「大きな声を出す！」と聞くと，言い争いや喧嘩などで凄みを利かせる方法？でもあるが，正しく使うと健康的にもストレス発散にも良い効果がありそうだ。実際に高齢者では，大きな声を出す訓練が，食物を嚥下する筋肉が鍛えら

れ誤嚥の防止となるばかりか，脳や免疫の活性化にも有利でもあるらしい。しかし，常日頃から大きな声ばかりだしていると他人の迷惑になる。どうしたら人の迷惑にならないように大きな声を出せるのだろうか？その答えは？「大勢で歌をうたうこと＝合唱をすること」である。

私は昨年から県病院内に結成された「コール・フェニックス合唱団」の団長として週に 1 回の練習をほぼ皆勤賞で行った。歌は腹式呼吸であるためにかなり腹筋が鍛えられた（しかしまだまだポッコリであるが...）。

その他の声を出す場所はカラオケルームである。私のカラオケ仲間はなかなかの達人ぞろいで主旋律を歌う人が少なく，隙あらばハモろうとする連中ばかりであるために，酔っ払ったときのカラオケは合唱に変化する。カラオケも合唱も自分の声と違うハーモニーを聞きながら一種の芸術のような気持で楽しんでいる。

これからも歌で声を鍛えて，大きく優しく落ち着いた声で話すことが出来るようになりたい。それで患者さんの不安が少しでも安心感に変わるならいいことだと思う。

さあ今年も歌の練習をして，大きく声を出して・うたっていい気分で仕事をしよう。

〔次回は 日南市の原 誠一郎先生にお願いします〕

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 4 月 ～

平成 23 年 4 月 4 日～平成 23 年 5 月 1 日(第 14 週～ 17 週)

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：結核 13 例が都城(5 例)、宮崎市(3 例)、日南(2 例)、延岡・小林・高鍋(各 1 例)保健所から報告された。患者が 6 例、疑似症患者が 3 例、無症状病原体保有者 4 例で、患者は肺結核が 4 例、その他の結核(結核性胸膜炎)が 2 例であった【表 1】。男性 9 例、女性 4 例で、30 歳代・70 歳代・80 歳代が各 2 例、40 歳代が 4 例、60 歳代が 3 例であった【表 2】。

表 1 結核の病型及び報告数(人)

肺結核	4
その他の結核(結核性胸膜炎)	2
疑似症患者	3
無症状病原体保有者	4

表 2 結核の年齢別報告数(人)

30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代
2	4	3	2	2

3 類：腸管出血性大腸菌感染症 3 例が都城(2 例)、宮崎市(1 例)保健所から報告された。患者 2 人、無症状病原体保有者 1 人で、患者の症状は腹痛、血便、水溶性下痢、嘔吐がみられた。O 血清型及び毒素型別報告数を【表 3】、年齢別報告数を【表 4】に示した。

表 3 腸管出血性大腸菌感染症の O 血清型及び毒素型別報告数(人)

	VT1	VT2	VT1,VT2	VT
O111				1
O146		1		
不明	1			

表 4 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別報告数(人)

2 歳	5 歳	30 歳代
1	1	1

4 類：報告なし。

5 類：○アメーバ赤痢 1 例が宮崎市保健所から報告された。60 歳代の男性で腸管アメーバ症。下痢がみられた。

○後天性免疫不全症候群 1 例が延岡保健所から報告された。30 歳代の男性で無症候性キャリア。

○麻疹 1 例が宮崎市保健所から報告された。1 歳の女児で修飾麻疹(検査診断例)。発熱、発疹、中耳炎がみられた。ワクチン接種歴 1 回あり。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 9,242 人(定点あたり 215.5)で、前月比 84%と減少した。また、例年と比べると 166%と増加した。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病、インフルエンザ、流行性角結膜炎で、減少した主な疾病は RS ウイルス感染症、感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾病は伝染性紅斑、インフルエンザ、流行性耳下腺炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎であった。

手足口病の報告数は 152 人(4.2)で前月の約 1.8 倍、例年の約 9 割であった。延岡(15.5)保健所からの報告が多く、年齢別では 6 か月から 3 歳で全体の約 9 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 4,894 人(82.9)で前月の約 1.2 倍、例年の約 6.5 倍であった。延岡(111.9)、日向(103.5)、高鍋(94.3)保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 36%、6～9 歳が 38%、10～14 歳が 17%、15～19 歳が 2%、20 歳以上が 7%を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 299 人(8.3)で前月の約 8 割、例年の約 13 倍であった。宮崎市(14.0)、高鍋(13.3)、延岡

表 前月との比較

	4 月		3 月		例年 との 比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	4,894	82.9	4,077	69.1	
RS ウイルス感染症	52	1.4	140	3.9	
咽頭結膜熱	101	2.8	95	2.6	
溶レン菌咽頭炎	629	17.5	967	26.9	
感染性胃腸炎	1,962	54.5	3,536	98.2	
水痘	515	14.3	631	17.5	
手足口病	152	4.2	85	2.4	
伝染性紅斑	299	8.3	393	10.9	
突発性発しん	167	4.6	166	4.6	
百日咳	1	0.0	4	0.1	
ヘルパンギーナ	18	0.5	5	0.1	
流行性耳下腺炎	366	10.2	407	11.3	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	80	13.3	58	9.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	4	0.6	3	0.4	
クラミジア肺炎	1	0.1	2	0.3	

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

( 10.5)保健所からの報告が多く、年齢別では3歳から8歳で全体の約8割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は366人( 10.2)で前月の約9割、例年の約2.2倍であった。日南( 34.3)、宮崎市( 18.9)、延岡( 10.0)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳から6歳で全体の約7割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は629人( 17.5)で前月の約7割、例年の約1.8倍であった。延岡( 50.0)、中央( 30.0)、高千穂( 24.0)保健所からの報告が多く、年齢別では3歳から7歳で全体の約6割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は101人( 2.8)で前月の約1.1倍、例年の約1.4倍であった。日南( 6.3)、都城( 6.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から4歳で全体の約8割を占めた。

流行性角結膜炎の報告数は80人( 13.3)で前月の約1.4倍、例年の約1.7倍であった。宮崎市( 22.0)保健所からの報告が多く、年齢別では10歳未満で全体の約4割を占めた。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 4 月

### □ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は44人( 3.4)で、前月比107%と増加した。また、昨年4月( 3.4)と同数であった。

### 《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数26人( 2.0)で、前月とほぼ同数、前年の約1.4倍であった。日向( 5.0)、都城( 3.0)、宮崎市( 2.5)保健所からの報告が多く、男性11人・女性15人で、20歳代が全体の約半数を占めた。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人( 0.62)で、前月の約1.3倍、前年の約1.6倍であった。

男性1人・女性7人で、30歳代が全体の約6割を占めた。

○尖圭コンジローマ：報告数4人( 0.31)で、前月の2倍、前年の約1.3倍であった。20歳代、30歳代、40歳代、50歳代がそれぞれ1人であった。

○淋菌感染症：報告数6人( 0.46)で、前月の約8割、前年の約4割であった。男性4人・女性2人で、10歳代が2人、20歳代が4人であった。

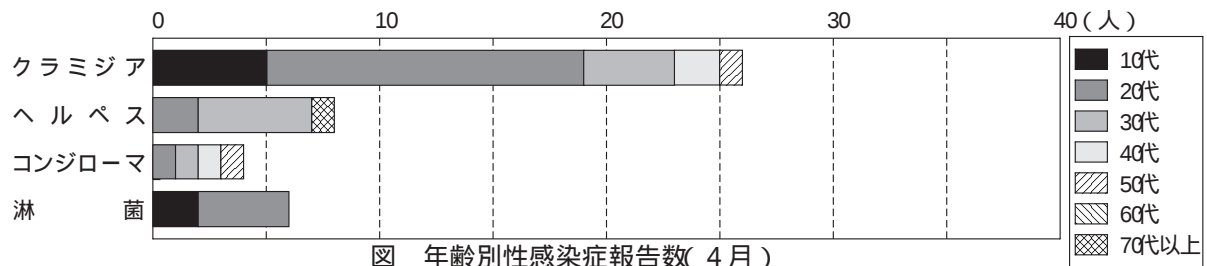


図 年齢別性感染症報告数( 4 月 )

【全国】 定点医療機関総数：957

定点医療機関からの報告総数は3,786人( 4.0)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,946人( 2.0)で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症630人( 0.66)で前月比98%、尖圭コンジローマ447人( 0.47)で前月比109%、淋菌感染症763人( 0.80)で前月比104%であった。

### □ 薬剤耐性菌

【全国】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は53人( 7.6)で前月比136%と増加した。また昨年4月( 4.7)の160%であった。

### 《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数37人( 5.3)で、前月の約1.3倍、前年の約1.9倍であった。宮崎市( 13.0)、高鍋( 8.0)、延岡・日南( 各6.0)保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数16人( 2.3)で、前月の約2.3倍、前年の約1.1倍であった。

宮崎市( 13.0)保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約8割を占めた。

○薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。

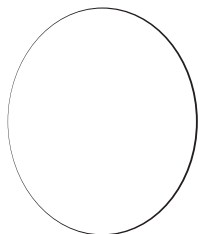
○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：463

定点医療機関からの報告総数は2,259人( 4.9)で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,823人( 3.9)で前月比101%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症407人( 0.88)で前月比124%、薬剤耐性緑膿菌感染症29人( 0.06)で前月比100%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

( 宮崎県衛生環境研究所 )

## メディアの目



## 東日本大震災に思う

NHK 宮崎放送局放送部長

おおむらしゅんや  
大村俊哉

3 月 11 日に起きた「東日本大震災」は、これまで我々が想定していた地震や津波の規模を遥かに上回るものでした。日本でマグニチュード 9.0 というこれまで経験したことのないような大地震は、それまで人間が営々と築き上げてきた生活を根こそぎ奪っていきました。また、その影響で発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故については、未だに予断を許しません。行方不明者の消息など被害の全貌も見えませんが、今回の大災害から日本が復興するには、かなりの時間を要することでしょう。

今回の大震災では、命からがら逃げ延びて避難所にたどり着いたにも関わらず、そこでせつかくの命を落とす方も少なくありませんでした。その方の多くは満足な医療行為を受けられていたならば、という話も多く聞きます。確かに、ライフラインが途絶し病院も多くが被災している状況では、行き届いた診療や投薬も受けられないのは仕方がなかったと思われます。さながら野戦病院のような状況で全力で救命にあたられた医師の皆さんのご苦労には頭が下がりますが、一方で万が一に備えて医療体制や様々な医薬品などがもう少し整備されていれば、亡くなる方を少しは減らすことができたかもしれませ

ん。このような方を一人でも多く救う方法を構築するのは残された私たちの責務となります。

昭和 35 年のチリ地震津波などで我々は、津波の危険性を学びました。今回、これだけの規模の大津波が発生したにも関わらず海外に比べて死者が少なかったのは、三陸の住民たちがいち早く高台に避難したからだとも言われています。阪神淡路大震災では、我々は少しでも多くの命を救うためにトリアージという手法を学びました。今回の大震災で我々は、「想定以上の災害は起こりうる」ということを強烈に学びました。

平常時でも医師不足が叫ばれている状況の宮崎県で、果たして大規模災害が発生した場合には大丈夫なのでしょうか？日向灘沖の活断層は、現在活動期に入っており、いつマグニチュード 7.0 クラスの地震が起きてもおかしくないといわれています。今回の教訓で、想定以上の地震・津波にも対応できる体制づくりが求められています。これまで想定してきた災害対策を根本から見直し、万が一の場合には少しでも多くの人命を救う。これは、医師とメディアという立場は違えども我々に共通の問題です。未来の宮崎県のために少しでもできることを今からやっていきたいものです。



## あなたできますか？

— 平成 22年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 41ページ )

- 1 . E 型肝炎ウイルスについて正しいのはどれか。
  - a 母子感染する。
  - b 肝硬変の原因となる。
  - c 劇症肝炎の原因となる。
  - d 熱処理で不活化しない。
  - e B 型肝炎ウイルスとの重複感染が多い。
- 2 . 1 歳 6 か月児健康診査でみられる皮膚疾患で最も頻度が高いのはどれか。
  - a アトピー性皮膚炎
  - b イチゴ状血管腫
  - c サーモンパッチ
  - d 尋常性魚鱗癬
  - e 伝染性軟属腫
- 3 . 過敏性腸症候群の症状はどれか。
  - a 発 熱
  - b 浮 腫
  - c 血 便
  - d 食後腹痛
  - e 体重減少
- 4 . 腎血管性高血圧症について正しいのはどれか。
  - a 左右腎静脈レニン活性( PRA )比が診断に有用である。
  - b 高齢者では線維筋性異形成が原因として最も多い。
  - c 全高血圧患者の約 30% を占める。
  - d 高カリウム血症を合併する。
  - e 薬物治療が第 1 選択である。
- 5 . 呼吸器感染症と原因菌の組合せで誤っているのはどれか。
  - a 肺膿瘍 ————— 黄色ブドウ球菌
  - b 院内肺炎 ————— マイコプラズマ
  - c 誤嚥性肺炎 ————— 嫌気性菌
  - d 重症市中肺炎 ————— レジオネラ菌
  - e 人工呼吸器関連肺炎 — 緑膿菌
- 6 . 原発開放隅角緑内障で病初期からみられるのはどれか。
  - a 眼 痛
  - b 視力低下
  - c 角膜浮腫
  - d 虹彩萎縮
  - e 傍中心暗点
- 7 . 生命予後が最も不良なのはどれか。
  - a 18 trisomy
  - b 21 trisomy
  - c 猫鳴き症候群
  - d Klinefelter 症候群
  - e Prader-Willi 症候群
- 8 . 妊婦で循環血液量が減少するのはどれか。
  - a 前置胎盤
  - b 切迫早産
  - c 妊娠糖尿病
  - d 重症妊娠悪阻
  - e 血液型不適合妊娠
- 9 . 延髄背外側梗塞で病巣と反対側にみられるのはどれか。
  - a 軟口蓋の麻痺
  - b Babinski 徴候
  - c Homer 症候群
  - d 小脳性運動失調
  - e 頸部以下の温痛覚障害
10. 肺癌の臨床病期の決定に関係しない検査はどれか。
  - a FDG -PET
  - b 腫瘍マーカー
  - c 気管支鏡検査
  - d 頭部造影MRI
  - e 胸腹部造影CT

## 各都市医師会だより

## 児 湯 医 師 会

毎月第二木曜日に理事会を開催していますが、都農町、川南町、木城町、新富町から 1 名ずつ、高鍋町から 10 名が出席されます。永友会長の司会で和気藹々とした理事会です。

児湯は相対的に広く都農町は日向市との医療関連も深く、新富町、高鍋町、木城町も宮崎市や西都市の救急関連病院に夜間帯にご迷惑をお掛けしている現状です。数名の医師が西都児湯医療センターや国立病院機構宮崎病院、宮崎市郡医師会病院(小児科)に応援に出向いていますが、少しでも多くの方に応援をお願いしたいと思う昨今です。

海老原総合病院を基幹に児湯の救急医療を検討したこともございますが、現状保険制度の不備、官公庁からの助成など到底困難で頓挫した経緯もございました。

先日、工事中の東九州自動車道の現場主任の残業時間が月 200 時間超(総労働時間 378 時間。うち時間外および休日 202 時間)ということで、産業医関係で診察をする機会がありました。多くの現場主任の肉体的、精神的ストレスも相当なものでした。こういう方の苦勞で出来上がる道路を無料で提供する政府の見識に唖然とします。国民は技術提供者、労働者に敬意も払わず無神経に当然の権利の如く車を乗り回すのみです。大事に作って頂いた道路だから感謝を込めてお金を払って運転してこそ当然と思いますが。権利ばかりを主張する教育、風潮に危惧を覚えます。医療機関へのコンビニ受診もあながち無関係では無い様な気が致します。夜間帯も当然の如く、咳、鼻、喉、腹といった単語のみの訴えで来院される方をよくお見受け致します。

戦後民主主義の教育情報環境の中から輩出した方々が政権を担う限り、教育では多くを望めない気がします。東京電力など話題の電力会社も、昭和 46 年頃から連綿と全く専門知識も無い多くのお偉方が各方面から天下りされ、技術系の改革が無関心、等閑にされていた社会構造が改まることも無いようです。暗い話題はさておき、今後も全国の講演会等に積極的に出かけあるいは先生を招聘して、様々な知識を地域に還元出来る様楽しく努力したいと思っています。

(黒木 宗俊)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

## 西都市・西児湯医師会

西都市ではスイートコーンの収穫で生産農家は大忙しです。前日の昼間印をつけた物を深夜 1 時ごろからヘッドライトで照らしながら朝の出荷に間に合うように収穫します。早朝は糖度が高く日が昇り気温が上がると糖度が落ちるため早朝の収穫になります。そして、約 2 週間の間にそのほとんどの収穫をするためその期間、西都市の医療機関は患者数が減ります。患者数の増減と初夏の旬の味で季節感を感じています。4 月から西都医師会病院は西都児湯医療センターに引き継がれ夜間救急外来も維持できています。5 月からは新たに数名の先生方の協力

も得られていますがマンパワー不足は否めずまだまだ大変です。

(杉尾 克徳)

◇ ◇ ◇ ◇

## 南 那 珂 医 師 会

4 月 29 日から始まったゴールデンウィークも終わり、通常の日常診療に戻っています。4 月 29 日が当番医で休みの始まりのためか、薬を貰うのを忘れていた方もありました。少ないスタッフで対応しましたが大変でした。そこで思いましたのが当医師会内の公的病院の一つが常勤医師の退職のため、救急医療をはじめとする本来の病院機能を十分に果たせない状況であり、4 名の医師で日直、宿直をして大変であるので医

師会員の中で宿日直に協力できる方を探しているということでした。公的病院もご苦労されているのがわかり、我々開業医もかかりつけ医として頑張っ公的病院の負担を少しでも軽くすることが地域医療に貢献することだと思います。その一つとして、当医師会は日南市初期夜間急病センターのさらなる充実や電話相談事業設立などを、会長をはじめとして努力しています。

(中島 昌文)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 諸 医 師 会

当医師会立准看護学校の入学者数は、少子化の深刻な影響をうけるとともに質の担保を得るというジレンマも抱え激減しています。地方のさらに地方では、医師はもちろんのことあらゆる職種が足りず、地域医療が足元から崩壊してきています。明日の医療を担ってくれる看護師の卵達、看護学校の存続はなにより重要な課題です。

(花田 武浩)

◇ ◇ ◇ ◇

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

九州・沖縄 8 県の首市と下関市の 9 医師会持ち回りの九州首市医師会連絡協議会が、今年の 10 月 1 日(土)、2 日(日)当会主催で行われます。この会では初の勤務医の問題を話し合うセッションが行われる予定です。現在当会には勤務医部会は設置されていません。問題点等は県医師会の勤務医部会で検討してもらっています。この連絡協議会で他県の医師会からの意見をお聞きして、勤務医に関する問題点の整理ができればと考えています。

(菊池 郁夫)

◇ ◇ ◇ ◇

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

5 月は決算報告の時期である。会員の関心のひとつに医師会病院事業の収支状況がある。ここ数年経営状況はいいと言えるものではなかった。新築移転に対する心配もそこにある。急病センターの後方支援という政策医療とすべき役割も担っているため、ベッドの管理など非効率

的な部分が多くある。しかしながら、今年の収支報告書は数年ぶりに改善した。要因はいくつもあると思われる。もちろん院長をはじめ個々の功績が大きいことは言うまでもない。まずは日々の診療に頑張ってくれた各科の医長および担当の先生方、スタッフのみなさんに深く感謝したい。

(田口 利文)

◇ ◇ ◇ ◇

### 延 岡 市 医 師 会

延岡市夜間急病センターは、延岡市より委託され指定管理者として延岡市医師会が運営を行っています。現在、市民の要望に少しでも添えるよう 36 日準夜枠(内科、外科、小児科)に加え、土曜日の午後の枠まで拡大。更に金曜(内科、外科)、土曜(内科)の深夜枠まで拡充してきました。今回、「一次救急の拡充に向けて延岡市医師会として今出来る最大限の努力」も示したいと、本年 6 月より更に木曜日の内科深夜枠を開始することにしました。そこで医師会員の高齢化や医療スタッフの問題などから慎重論も出ましたが、出来る範囲でやって行こうということになりました。と同時に市民の安易なコンビニ受診は控えるようにお願いしていきます。

(日高 孝紀)

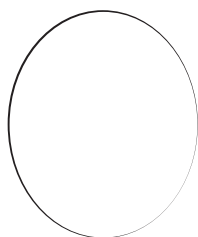
◇ ◇ ◇ ◇

### 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

鳥インフルエンザの発生で延期となっていた日向市消防署主催の集団災害事故救急救護訓練が 5 月 14 日(土)、門川町海浜公園で開催されました。当医師会からも医師、看護師等 90 名余りが参加していただき、総勢 232 名による大規模な訓練となりました。医療関係者は医師と一体となり、転倒したバスから運び出されたケガ人(予め模擬的に症例を記載した札を着用)のトリアージ訓練に真剣に取り組んでいただきました。事故が発生した場合には訓練どおりにはいきませんが、訓練を重ねることで不測の事態に対応できるノウ・ハウが身についてくると確信しています。

(渡邊 康久)

## 宮崎大学医学部だより

感覚運動医学講座  
- 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 -とうの  
東野 てつや  
哲也 教授

2006 年 1 月の東野教授の  
就任から、まる 5 年が経過  
しました。耳の手術を得意  
とする教授の看板によると  
ころが大きいと考えられま  
すが、九州全域より、耳の  
手術のために紹介されてく

る患者さんが増加しています。朝日新聞出版病  
院データブック 2011 年版の鼓室形成術症例数ラ  
ンキングでは、当教室は全国 5 位となっています  
(ちなみに 3 年前に本誌で当教室を紹介してい  
ただいたときは全国 10 位でした)。

大学病院の再整備事業により、外来棟が新築  
され昨年 5 月より稼働しています。近年のプ  
ライバシー保護の観点から、これまでの眺めの良  
い解放感のある外来とは異なり、各診療室が壁  
で仕切られた個室となりました。これまで以上  
に患者への説明も重要視される時代となり、患  
者説明を兼ねた 32 インチの液晶パネルを電子カ  
ルテのデュアルモニターとして使用しています。  
呼び出しに関しても、プライバシー保護の観点  
から直接氏名で呼び出すことがなくなり、その  
代わりに、電子カルテと連動し、自動的に患者  
番号が掲示版に表示され、音声案内が待合に流  
れる仕組みになりました。当科では難聴者を対  
象に有している観点から、PHS を用いた電動呼  
び出しシステムを採用し、通常の電子カルテか  
らの呼び出しに加えて、バイブレーターでの呼  
び出しを併用しています。

最近の宮崎県における耳鼻咽喉科関係の学術

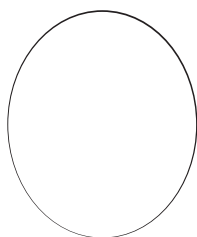
的業績としては、宮崎大学にセンターを置く宮  
崎県新生児聴覚スクリーニング事業が立ち上が  
り、新生児聴覚障害の発現頻度やその動態を監  
視するシステムが確立しつつあることがあげら  
れます。言語聴覚士も増員し、聴覚の評価のみ  
でなく、人工内耳後のリハビリや言語療法にも  
これまで以上にきめ細かい対応ができるように  
体制を整えつつあります。

研究分野では、ラット外耳道皮膚細胞培養、  
嗅覚におけるインスリンシグナリングの検討な  
どの基礎研究のほか、サーファーズイヤーの疫  
学的調査、治療法の研究などを行っています。  
宮崎県でおこなわれるサーフィン大会の協力を  
得て、外耳道検診を行い、その疫学的特徴を明  
らかにするとともに、治療の必要な方につい  
ては当院で、短期間入院ですむように工夫した術  
式で対応しています。サーファーズイヤーの解  
説サイト(<http://www.surfersear.jp/>)を作成  
しており、こちらのホームページからの問い合  
わせも増えつつあります。サーファーズイヤー  
はよほど高度な病変にならないと、手術を要す  
ことはありません。しかし、1990 年代以降の  
サーフィンブームもあって、大変増加したサー  
ファーズイヤーの何%かはいずれ高度なサーファ  
ーズイヤーを形成し、治療を要する方も増加して  
くるものと考えています。

お陰様で本年は新入局員の医師 2 名を迎える  
ことができました。客観的臨床能力試験(OSCE)  
で診察法の基本をたたきこまれ、耳鼻咽喉科旧  
来の額帯鏡、紙カルテ、アナログ内視鏡を知ら  
ない世代です。きっとこれからの宮崎県耳鼻咽  
喉科医療に新風をふきこんでくれることでしょ  
う。彼らに対する諸先輩方のご指導、ご鞭撻を  
よろしくお願い申し上げます。

( 医局長 なかにし はるか 中西 悠 )

## 専門分科医会だより (外科医会)



たなか としまさ  
田中 俊正 会長

過去の本欄で、歴代の外科医会長は若手医師の外科離れや会員数の減少に触れ、外科の勢いの陰りを憂慮しておられます。同感です。

患者にメスを加える外科医の責任は重く、回復までの臨床経過に全責任を負うのは当然です。そのため外科医は創傷治癒や栄養などの基礎知識だけでなく、全身の臓器管理に関する幅広い手技を習得する必要に迫られます。この厳しさが若手に敬遠される理由でしょうか。全身管理ができることが一般外科医の売りであり、種々の医療現場で重宝されてきたはずでしたが。

最近の医学の進歩？に伴って、外科の細分化が始まり、大学の外科で取り扱う疾患の種類は減りつつあります。私が 20代後半の頃の大学病院の外来では、破傷風、熱傷、外傷などに対する呼吸管理、創部のデブリドマン、四肢の切断などの処置が、若手医師達の手によって普通に行われていました。このような症例は、各地に医師会病院や救急病院が整備されるとともに大学から消失し、臓器別の医療が中心になりました。その結果、中堅どころの指導医の generalist としての力量が低下してしまいました。

研修医や医学部学生たちが目にする外傷外科の啓蒙書の多くは救急医の手によって執筆されていることは周知の事実です。また、大病院における若手医師たちへの外科基本手技(抜爪、膿瘍切開、血管や腱縫合など)の指導は救急部門において活発に行われています。若手医師たちは、救急の現場で外科手技の素晴らしさを感じ、臓

器別の専門医よりも全身を診る力を持つ救急医に憧れを感じます。自分自身を振り返ると、医師になりたての頃は確かに全身管理に興味がありました。これは重要なポイントです。

私は 5 年前、都城市に災害医療支援チーム(DMAT)を設立しました。災害あるいは交通事故の現場に出動して救急蘇生を行う任務にもっとも適した専門分野は何か。対象の多くが外傷患者である以上、一般外科医の独壇場であるはずでず。われわれは、新しい研修医制度が実施される際、外科と救急の研修をセットにして若手医師を育てるという提案を実行に移し、研修医たちが DMAT の隊員として災害現場に出向くようにしました。現在この外科のカリキュラムは、都城市郡医師会病院とメディカルシティ東部病院の 2 施設で引き継がれています。

外科分野において、外科と救急のカリキュラムを統合するというアイデアは、一般外科にかつての隆盛をもたらす切り札と考えます。うれしいことに、このような考え方を最近導入した外科教室が九州にもあります。福岡大学消化器外科学教室(山下裕一教授)に平成 22 年 4 月に設置された acute care surgery 部門では、外傷外科医や救急外科医を育成するためのカリキュラムが用意されています。この部門における手術の執刀はレジデント主体に行われており、外科あるいは救急に傾倒しかけている若い医師たちの心を捉えるに違いありません。宮崎の外科をより活発にするための起爆剤としての一案として提案いたしました。8 月の宮崎救急医学会は都城で行われます。多くの外科医の参加を心よりお待ち申し上げます。(理事 東 秀史)

## 保険医療機関の指導計画等打合せ会

と き 平成 23 年 4 月 11 日(月)

ところ 県医師会館

九州厚生局宮崎事務所から以下の指導要領が示され、今年度の指導計画の説明が行われた。

### 1. 集団指導

#### 新規指定

##### 1) 選定基準

新規指定の保険医療機関について、概ね 1 年以内に全てを対象として実施する。

##### 2) 対象件数

ア 平成 23 年 1 月から平成 23 年 6 月まで

の間に新規指定を行った保険医療機関

イ 平成 23 年 7 月から平成 23 年 12 月まで

の間に新規指定を行った保険医療機関

##### 3) 実施方法

指導方法 講習会方式で実施

実施日 ア 平成 23 年 7 月

イ 平成 24 年 1 月

指導時間 90 分程度

指導場所 宮崎市

指導者 指導医療官、事務官、吏員

出席者 管理者

立会人 なし

通知時期 宮崎県医師会及び対象医療機関、対象保険医には指導日の 1 か月前に通知

#### 新規登録医

##### 1) 選定基準

保険医の新規登録時における指導については、臨床研修病院の協力を得ながら実施する。

##### 2) 対象件数

平成 23 年に国家試験に合格し、臨床研修病院に配属された医師

##### 3) 実施方法

指導方法 講習会方式で実施

実施日 平成 23 年 4 月 6 日

...県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎生協病院

平成 23 年 4 月 7 日

...宮崎大学医学部附属病院

指導時間 90 分程度

指導場所 宮崎市

指導者 指導医療官、事務官、吏員

出席者 新規登録医

通知時期 宮崎県医師会及び臨床研修病院には指導日の 1 か月前に通知  
なお、対象医師には、臨床研修病院から連絡

#### 診療報酬改定

##### 1) 選定基準

全ての保険医療機関を対象とする。

##### 2) 対象件数

病院 140 保険医療機関

診療所 722 保険医療機関

##### 3) 実施方法

指導方法 講習会方式で実施

実施日

病院 平成 24 年 3 月 30 日(宮崎市)

診療所 平成 24 年 3 月 23 日(都城市)

平成 24 年 3 月 26 日(延岡市)

平成 24年 3 月 28日( 宮崎市 )

指導時間 120分程度

指導場所 宮崎市，都城市，延岡市

指 導 者 指導医療官，事務官，吏員

出 席 者 管理者，請求事務担当者

通知時期 宮崎県医師会及び対象保険医療機関には指導日の 1 か月前に通知

## 2 . 集団的個別指導

### 1 ) 選定基準

指導対象保険医療機関は，厚生労働省医療課提供都道府県別平均値一覧表「類型区分」の総保険医療機関の概ね 8 % とし，病院は県の平均点の 1.1 倍を超えるもの，診療所は県平均の 1.2 倍を超えるものの内下記に該当するものを除外したうえで高順位から選定する。

平成 21年度，平成 22年度集団的個別指導又は個別指導( 新規指導を除く )を実施した保険医療機関

平成 23年度個別指導を予定している保険医療機関

取扱い件数が月 10件未満の保険医療機関

### 2 ) 対象件数 36保険医療機関

病 院 140保険医療機関中  
7 保険医療機関

診療所 722保険医療機関中  
29保険医療機関

### 3 ) 実施方法

指導方法 個別部分の面接懇談方式は省略し，集団部分のみを実施

実 施 日 平成 23年 8 月

指導時間 90分程度

指導場所 宮崎市

指 導 者 指導医療官，事務官，吏員

通知時期 指導対象保険医療機関には指導日の 3 週間前に通知

宮崎県医師会には指導日の 1 か月前に通知

## 3 . 個別指導

### 1 ) 選定基準

支払基金等，保険者，被保険者等から診療内容又は診療報酬の請求に関する情報の提供があり，都道府県個別指導が必要と認められた保険医療機関等

個別指導の結果，指導大綱第 7 の 1 の( 2 )に掲げる措置が「再指導」であった保険医療機関等又は「経過観察」であって，改善が認められない保険医療機関等  
監査の結果，戒告又は注意を受けた保険医療機関等

集団的個別指導の結果，指導対象となった大部分の診療報酬明細書について，適正欠くものが認められた保険医療機関等  
集団的個別指導を受けた保険医療機関のうち，翌年度の実績においても，なお，高点数保険医療機関に該当するもの( ただし，集団的個別指導を受けた後，個別指導の選定基準のいずれかに該当するものとして個別指導を受けたものについては，この限りではない )

正当な理由がなく，集団的個別指導を拒否した保険医療機関等

その他特に都道府県個別指導が必要と認められる保険医療機関等

### 2 ) 対象件数 29保険医療機関

病 院 7 保険医療機関  
診療所 22保険医療機関

### 3 ) 実施方法

指導方法 原則として，指導月以前の連続した 2 か月分の診療報酬明細書に基づき，診療録及び関係書類を閲覧する面接懇談方式により実施する。

対象診療報酬明細書件数          病院・診療所共に 30 名分          ( 社保 10・国保 10・後期 10)	細書に基づき、診療録及び関係書類を閲覧する面接懇談方式により実施する。
実 施 日 平成 23 年 5 月より実施	対象診療報酬明細書件数
指導時間 病院は最低 3 時間程度、診療所は最低 2 時間程度	病院は 20 名分、診療所は 10 名分
指導場所 病院は病院内会議室、診療所は宮崎市	指 導 日 ア 平成 23 年 7 月          イ 平成 24 年 1 月
指 導 者 指導医療官、保険指導医、保険指導看護師、事務官、吏員	指導時間 病院は最低でも 2 時間程度、診療所は最低でも 1 時間程度
通知時期 指導対象保険医療機関には指導日の 3 週間前に通知          宮崎県医師会には指導日の 1 か月前に通知          患者名等の通知は、指導日の 4 日前に 15 名、前日に 15 名通知	指導場所 宮崎市          指 導 者 指導医療官、保険指導医、保険指導看護師、事務官、吏員          通知時期 指導対象保険医療機関には指導日の 3 週間前に通知          宮崎県医師会には指導日の 1 か月前に通知
指導結果 文書により後日通知	患者名等の通知は、指導日の前日に通知
返還措置 不当請求については自主返還とし、起算日は原則として指導月前 1 年間の該当分	指導結果 文書により後日通知          返還措置 不当請求については指導対象となった診療報酬明細書を自主返還
4 . 新規個別指導	集团的個別指導、個別指導、新規個別指導ともに立会人を宮崎県医師会に依頼する。
1 ) 選定基準	出席者 - 九州厚生局宮崎事務所 定松所長、          井上指導医療官、佐藤指導課長、          三好監査官、県国保援護課 新藏主幹          ( 県医 ) 稲倉会長、河野・富田副会長、          立元・濱田・石川常任理事、          上田・済陽理事、竹崎課長、牧野主事
新規集団指導を実施した保険医療機関を対象に新規指定から概ね 6 か月から 1 年以内に実施する。	
2 ) 対象件数	
ア 平成 22 年 7 月から平成 22 年 12 月までの間に新規指定を行った保険医療機関	
イ 平成 23 年 1 月から平成 23 年 6 月までの間に新規指定を行った保険医療機関	
3 ) 実施方法	
指導方法 原則として、指導月以前の連続した 2 か月分の診療報酬明	

## 九州医師会連合会第 31回常任委員会

と き 平成 23年 4 月 16日(土)

ところ 大正屋(佐賀県嬉野市)

### 1 . 開 会

### 2 . 挨 拶

1 ) 鹿児島県医師会池田会長(前九州医師会連合会長)

2 ) 佐賀県医師会池田会長(開催県医師会長)

### 3 . 協 議

1 ) 九州医師会連合会長・同副会長の互選について

会長に佐賀県池田会長, 副会長に宮崎県稲倉会長を選出した。

2 ) 九州医師会連合会監事の選定について

福岡県, 長崎県から推薦をいただき 5 月 21日に決定することとなった。

3 ) 第 31回常任委員会並びに第 10回定例委員総会の開催について

開催日 平成 23年 5 月 21日(土)

場 所 ホテルニューオータニ佐賀

・第 31回常任委員会 16 00~ 16 50

・第 10回定例委員総会 17: 00~ 18: 10

4 ) 第 31回常任委員会及び九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について

開催日 平成 23年 6 月 3 日(金)

・第 31回常任委員会 16 00~ 16 50

・主管部長・医師会長合同会議 17 00~ 18 15

### 5 ) 東日本大震災について

現在の状況は以下のとおり。

・宮崎県医師会が宮城県に 5 月末まで切れ目なく派遣することを調整済み。沖縄県医師会も同様に岩手県へ派遣中。

・宮崎県, 沖縄県以外の日医との派遣調整は引き続き鹿児島県が窓口となり調整することで了解された。

(気仙沼地域に熊本, 佐賀, 鹿児島から 1 ないし 3 チーム。今後調整)

(南相馬地域に長崎県が 5 月いっぱい派遣)

### 6 ) その他

熊本県より, 第 56回九州ブロック学校保健学校医大会については全国大会との調整を行ってきたが, 平成 24年度は 8 月 4 ~ 5 日に福岡県で開催することとなったと報告された。

### 4 . 報 告

1 ) 平成 23年度九州医師会連合会行事予定について

出席者 - 稲倉会長, 大重事務局長

## 日医 FAX ニュースから

### ■ 直接選挙「断念せざるを得ない」

— 日医委員会が答申 —

日本医師会会長選挙への直接選挙の導入の可否について検討していた日医会内の委員会が「現時点では断念せざるを得ない」との答申をまとめた。

直接選挙の導入に強い関心を示していた原中勝征会長は 4 月 28 日の定例会見で、制度運用や代議員構成の問題で一定の解決策がまとまったことを評価し「これでよろしいのではないか」と述べた。

答申をまとめた「会長選挙制度に関する検討委員会」（委員長＝長瀬清・北海道医師会会長）の位置付けについて、原中会長は「全会員が日医は自分たちの組織であるとの認識が得られるような会長選挙にしてほしいと、直接選挙を含めた方法について諮問した」と説明。公益法人制度改革に伴い公益法人を目指す中で、法律家を交えた議論で得られた結論として一定の評価を示した。

（平成 23 年 5 月 10 日）

### ■ 地域再生基金の拡充を要望

— 日医 —

中川俊男副会長は 5 月 12 日の定例記者会見で、東日本大震災被災地の医療再生・復興支援に向けた地域医療再生基金の柔軟な活用や、復興・防災対策を目的とした医療向けの新たな基金の創設を国に要望したことを明らかにした。11 日に厚生労働省の大谷泰夫医政局長に直接要望を伝えた。中川副会長は「全て前向きに検討するということで、その場で了解となったものもある」とした。

2010 年度補正予算で 2100 億円を拡充した再生基金について厚生労働省は、4 月 15 日に通知を出して、岩手・宮城・福島の前被災 3 県向けに交付上限額の 120 億円を確保する措置を取った。日医は再生基金の活用をさらに見直して被災地県への交付上限額を超えた財源投入 対象地域の医療圏や事業内容を限定せずに、被災地医療機関の復興支援への柔軟な活用—を求めた。活用例として 被災地での医療従事者の確保費用（生活

支援含む）派遣医師の確保費用 被災地勤務の医療従事者への手当—などを例示した。

都道府県が 50 億円以上の交付を申請する場合、過剰病床地域の医療機関に 2 億円以上の施設整備費をかけるには病床を 10% 以上削減することが要件に盛り込まれている。また 80 億円以上の交付申請では病院の統合・再編も要件となっている。日医はこうした要件についても緩和するよう厚生労働省に求めた。

被災地医療の復興に加えて、全国の医療機関が防災対策に活用するための新たな基金を創設することも国に要望した。地域医療再生に向けて中長期的に活用でき、被災地以外の都道府県での防災対策に活用することも視野に入れた。中川副会長は「再生基金だけでは十分ではないので、桁が 1 つ 2 つ上の基金を創設して地域医療の復興に当ててほしい」と説明した。

（平成 23 年 5 月 17 日）

### ■ 「受診時定額負担制度」に反対姿勢

— 患者の負担増を懸念 —

民主党「社会保障と税の抜本改革調査会」の医療・介護制度改革素案で受診時定額負担制度が検討されていることを受け、中川俊男副会長は 5 月 18 日の定例会見で、患者の負担増に日医として反対する考えを示した。

中川副会長は受診時定額負担について、従来の一部負担金や保険給付とは別に一定額を上乗せし、患者に一部負担金と一定額の支払いを求める制度との認識を示し「意味不明な負担を（患者に）求めれば、皆保険体制の趣旨はだんだん崩れていくだろう」と語った。日医は公的医療保険制度では必要な財源を広く公費や保険料に求めるべきと訴えており、中川副会長は定額負担分を高額療養費の財源に充てる考え方に疑問を表明。高額療養費問題については「全体的な医療費財源の中で解決を図るのが本筋」と述べた。

（平成 23 年 5 月 20 日）

### ■ 6 割が時間外に電話対応実績

— 地域医療貢献加算で厚生労働省調査 —

厚生労働省は 5 月 18 日の中医協総会に、2010 年度診療報酬改定の結果検証に向けて実施した

「外来管理加算の要件見直し及び地域医療貢献加算創設の影響調査」の速報値を報告した。10年度改定で創設した地域医療貢献加算の施設基準を届け出ている診療所の6割程度が、診療時間外に電話で問い合わせを受けていた。中医協・診療報酬改定結果検証部会で詳細な分析と評価を行い、あらためて総会に報告する予定だ。

地域医療貢献加算の施設基準を届け出ている診療所の59.2%が、10年12月14日午後から28日午前の14日間に診療時間外に問い合わせの電話を受けていた。電話の受付件数は「1件」14.2%、「2～4件」31.7%、「5～9件」15.8%、「10～19件」13.1%、「20～29件」6.0%、「30～49件」5.5%、「50件～」1.6%、「無回答」12.0%だった。一方、施設基準を届け出していない診療所で、時間外に問い合わせの電話を受けたのは18.4%。受付件数は「2～4件」が最多の35.7%だった。

●算定しない理由「投薬のみだから」が最多

再診患者に対する外来管理加算の算定状況の推移も調べた。病院では、09年10月の算定率が42.3%で、09年10月に38.9%に落ちたが、10年10月に44.5%まで増えた。診療所では、09年10月の算定率が37.3%で、09年10月は36.5%、10年10月は36.7%とほぼ横ばいだった。

(平成23年5月20日)

■特定看護師，認証制度創設で大筋合意  
— 看護業務検討WG —

厚生労働省は5月16日「チーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループ」(WG、座長＝有賀徹・昭和大医学部救急医学講座教授)に、特定看護師(仮称)の枠組みを提示し、保健師助産師看護師法に認証制度の創設を盛り込む提案について出席委員から大筋で合意を得た。

厚労省が示した特定看護師の枠組みは「看護師免許を持っている(実務経験5年以上(養成課程への入学・入所前)) 厚生労働大臣の指定を受けた養成課程を修了する(厚労大臣から知識・能力・技術の確認・評価を受ける)の各要件を満たした看護師を対象とし、認証制度を創設するなど専門的な能力を“見える化”する。

(平成23年5月20日)

日医はこれまでも特定看護師(仮称)制度の創設には反対している。

■厚労相に同時改定見送りを要請

— 日医 —

原中勝征会長は5月19日、細川律夫厚生労働相に2012年度に予定されている診療報酬と介護報酬の同時改定見送りを含めた5項目を申し入れた。原中会長は申し入れ後の会見で「(厚労相は)見送ることができないとは言わなかった」と述べた。医療経済実態調査(実調)の中止については「一定の理解をお示しになったのは確かだと思う」と感触を示した。

申し入れは同時改定の見送りのほか「実調、薬価調査・保険医療材料価格調査の中止 介護報酬改定は見送るが、介護保険料の決定のために必要なことは行う 不合理な診療報酬、介護報酬については留意事項通知や施設基準要件の見直しなどを行う 必要な医療制度改革は別途行う」の全5項目。原中会長は今回の申し入れに関して「今後、話を続けていろいろな問題を解決していこうという言葉頂いた」と会談の内容を説明した。

中医協の議論については「中医協は中医協で職務がある。医師会は独自の行動をしていく」とし、18日の中医協での議論で鈴木邦彦委員(日医常任理事)が見送りを主張したことは「孤軍奮闘ではない」との認識を示した。

中川俊男副会長は実調について、震災後は短い期間で影響が少ないとの意見があることに対して、3月11日以降環境が激変し、1年度を通して震災の影響が広い範囲で出ると指摘。その実態が反映されない12年度診療報酬改定は行うべきではないと主張した。

診療報酬の要件などの見直しについては地域医療支援病院の例を提示。要件の緩和で承認を受ける病院が急増していると「本来の姿に戻すべき」とした。このほか特定機能病院の在り方を見直し、承認要件の再検討や、大学病院に対しての適正な運営費交付金(私学は私学助成金)の交付などを求めた。(平成23年5月24日)

## 薬事情報センターだより ( 289 )

## 新薬紹介( その 47 )

今回は 3 月に薬価収載された高尿酸血症治療剤フェブリク錠 10mg・20mg・40mg ( 一般名: フェブキソスタット ) と口腔粘膜吸収癌性疼痛治療剤アクレフ口腔粘膜吸収剤 200μg・400μg・600μg・800μg ( 一般名: フェンタニルクエン酸塩 ) について紹介いたします。

フェブリク錠 10mg・20mg・40mg ( 一般名: フェブキソスタット )

フェブキソスタットは、帝人ファーマで創製された世界初の非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤です。キサンチンオキシダーゼ (XO) の基質結合部分のチャンネル内に、空間を埋めるようにして XO と強固に結合します。したがって、XO の酸化・還元状態に依存せず、酸化型及び還元型 XO のどちらにも結合し、XO の作用を阻害することにより、尿酸産生を抑制し血中及び尿中尿酸値を低下させると考えられています。フェブキソスタットは XO の基質であるキサンチンと異なる分子構造 ( 非プリン骨格 ) を有し、XO 以外の他の核酸代謝酵素を阻害せず、XO に選択的な阻害活性を示します。

本剤は、2009 年 3 月に米国において販売が開始され、2011 年 1 月現在、世界 9 か国で販売されています。本邦においては、2011 年 1 月に「痛風、高尿酸血症」を効能・効果として承認され、5 月に発売されました。

承認時までの安全性評価対象 1,027 例中 228 例 ( 22.2% ) に副作用 ( 臨床検査値の異常を含む ) が認められました。内訳は、自他覚的副作用が 80 例 ( 7.8% )、臨床検査値異常が 81 例 ( 7.9% )、痛風関節炎は 105 例 ( 10.2% ) でした。また、重大な副作用として肝機能障害、過敏症 ( いずれも頻度不明 ) があらわれることがあります。

アクレフ口腔粘膜吸収剤 200μg・400μg・600μg・800μg ( 一般名: フェンタニルクエン酸塩 )

アクレフは、米国 Anesta 社 ( 現 Cephalon 社の子会社 ) にて創製されたフェンタニルクエン酸塩の口腔粘膜吸収製剤です。フェンタニルクエン酸塩を含む薬剤部分 ( バッカル錠 ) に長さ約 10mm の持ち手部分 ( ホルダー ) が取り付けられた構造をしています。癌性突出痛発現時にその薬剤部分を頬と歯茎の間などに含み、前後左右に動かす、あるいは回転させるなどして、口腔粘膜上で 15~ 30 分を目安に溶かして吸収させます。フェンタニルが口腔粘膜から速やかに吸収され、即効性の鎮痛効果が期待できます。なお、投与終了後 15 分経過しても十分な鎮痛効果が得られない場合は、同一用量を 1 本追加投与できます ( 200μg・400μg・600μg のみ )。しかし、1 回の突出痛に対して使用できるのは同一用量を 2 本までで、1 回に 2 本使用する突出痛が複数回継続する場合は、増量を検討する必要があります。

本剤は、1999 年に米国で癌患者の突出痛に対する治療薬として発売され、以降 23 か国で承認されています ( 2010 年 3 月現在 )。本邦においては、2010 年 10 月に「強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛」を効能・効果として承認されました。

承認時までに国内で実施された臨床試験で総症例数 143 例中 72 例 ( 50.3% ) 160 件の副作用 ( 臨床検査値の異常も含む ) が認められました。主なものは、傾眠 17 例 ( 11.9% )、便秘 14 例 ( 9.8% )、口腔内出血 10 例 ( 7.0% ) 等でした ( 承認時 )。また、重大な副作用として、依存性、呼吸抑制、意識障害、ショック、アナフィラキシー様症状、痙攣があらわれることがあります。

## 参考資料

フェブリク錠 10mg・20mg・40mg、  
アクレフ口腔粘膜吸収剤 200μg・400μg・  
600μg・800μg

各添付文書・インタビューフォーム

( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史 )

## 職員紹介（その 1）

5 月 1 日付で県医師会職員の人事異動を行いました。  
今月号より課毎に紹介します(太字は主な業務内容)

## ■ 事務局長



事務局長  
おおしげ ひろみ  
大重 裕美

昨年 4 月から事務局長としてお世話になっております。

この 5 月から医師協同組合の事務長を兼ねることになりました。医師会の公益法人化、アイバンク協会の公益財団法人化の対応、医師協同組合の運営など、職員の皆様とともに頑張っていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

滞りない移行完了に向け、業務遂行して参ります。



係 長  
まつもと まさみ  
松本 優美

( 理事会 , 栄典・表彰 ,  
外科医会 )

前回の職員紹介から 4 年経ちましたが、引き続き総務課でお世話になっております。長居している分、これまで以上に総務課としての自分の役割を考え、情報を収集し、業務に反映できるよう努めていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願いいたします。

## ■ 総務課



課 長  
たけざき えいいちろう  
竹崎 栄一郎

( 総務全般 )

昭和 6 年、故城山英太郎会長の時に採用していただいてから、時の経つのは早いもので、浅学のまま 24 年が経過してしまいました。

3 番目の古参となり、最近では体力の衰えを痛感しておりますが、日々少しでも人間的に成長できればと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



係 長  
ゆもと かずよ  
湯浅 和代

( 文書管理 , 入退会異動処理 )

この 4 月に総務課に異動となりました。総務課は初めての業務ですので、先輩方にご指導いただきながらの日々を送っております。来年度は、九州医師会連合会関係の担当県でありますので、総務課を中心にスムーズな会の運営ができますよう頑張りたいと存じます。



課長補佐  
おがわ かずえ  
小川 和恵

( 公益法人 )

新公益法人制度という大掛かりな改革により、これまで各種の公益事業に取り組み、実績をあげてきたにも拘らず、移行法人の選択を迫られています。移行には非常に奥の深い検討を要し、頭を悩ませています。

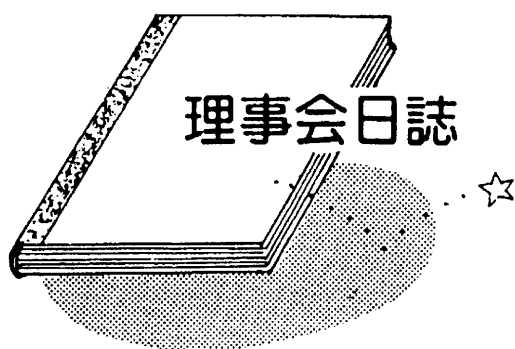
日医会員で構成する医師会は、日医の移行と同時に移行終了扱いされるような措置はとられないのでしょうか...



主 事  
まきの さとし  
牧野 諭

( 医療保険 , 医療安全 )

総務課 5 年目となりました。医療保険関係を主に担当しており、国からの重要通知等、会員医療機関にいち早く広報できるよう M M A 通信等で情報を流しています(事務職員の登録も可能です)。先生方のお役に少しでも立てるよう、努力していきたいと思ひますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



平成 23 年 4 月 5 日(火) 第 1 回常任理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

##### 1. 本会外の役員等の推薦について

宮崎大学医学部附属病院医師研修管理委員会委員の委嘱について

→引き続き稲倉会長が就任することが承認された。

##### 2. 九州医師会連合会会員数等について

会員数等は、事務局で確認後、報告することとなり、九医連の常任委員並びに委員については、任期途中のため昨年と同様のメンバーで報告することが承認された。

##### 3. 6/3(金)佐賀/平成 23 年度九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について

稲倉会長が出席することが承認された。  
また、提出議題については会長一任となり、審査強化を踏まえ検討することとなった。

##### 4. 東北地方太平洋沖地震への支援について

依頼文書の検討が行われ、政府の方針に合わせ名称を“東日本大震災”に統一すること並びに趣意書に目安となる経費の金額を明記する等の変更を加えた上で、全会員に文書で支援金のお願いを行うことが承認された。

##### 5. 会費減免申請について

県医の会費減免(高齢 2 名)及び日医・県医の会費減免(疾病 2 名)について承認された。

##### (報告事項)

##### 1. 週間報告について

##### 2. 4 月 1 日現在の会員数について

##### 3. 3/30(火)県総合保健センター/県健康づくり協会理事会について

##### 4. 4/3(日)奈良/奈良県医師会激励訪問について

##### 5. 3/30(火)宮崎労働局/労災診療指導委員会について

##### 6. 4/2(土)県医/日医生涯教育協力講座セミナーについて

##### 7. 4/5(火)県医/治験審査委員会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

##### 1. 日本医師連盟執行委員のご選出及び執行委員会開催について

稲倉委員長と河野副委員長の 2 名を日医連執行委員として選出することが承認され、来る 5 月 1 日(火)に開催される日医連執行委員会に出席することとなった。

##### 2. 九州医連連絡会の役員について

任期途中ということもあり昨年と同様のメンバーで報告することが承認された。

##### 3. 5/28(土)JA AZM ホール/定期大会代議員名簿の提出のお願いについて

役員を中心に稲倉委員長を含め 7 名の代議員を選出することが承認された。

##### (報告事項)

##### 1. 4/1(金)宮崎八幡宮/清山とものり候補出陣式について

##### 2. その他

県議会議員選挙における状況報告(延岡市区)

## 平成 23年 4 月 12日(火) 第 2 回常任理事会

## 医師会関係

## ( 議決事項 )

- 1 . 東北地方太平洋沖地震の発生に伴う転学等希望者の受入れについて

被災地域の看護師等養成所に入学又は在学中の学生が他県に転学等を希望する場合の受入について、厚生労働省から協力依頼が出されており、県医師会としても、関係郡市医師会と連絡調整を行い協力していくことが確認された。

- 2 . 本会外の役員等の推薦について

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会理事の就任について

→稲倉会長が就任することが承認された。

第 6回 “ 社会を明るくする運動 ” 宮崎県推進委員会委員御就任及び同推進委員会 ( 5 /25)出席依頼について

→引き続き稲倉会長を委員に推薦することが承認された。

- 3 . 後援・共催名義等使用許可について

6 /10(金) メディキット県民文化センター) 東日本大震災復興支援チャリティーイベントの後援について

→後援することが承認された。

- 4 . 平成 24年度九州医師会連合会及び各種関連行事予定について

4 月の常任委員会の日程を 4 月 14日(土)から 4 月 7 日(土)へ、また 11月の九州医師会連合会総会の日程を 11月 2 日(金)～ 4 日(日)から 11月 23日(金)～ 25日(日)に変更することが承認された。

- 5 . 5 /31(火)宮崎大学医学部教授等と宮崎県医師会役員等との懇談会開催について

日程の確認が行われ開催案内を発信することが承認された。

- 6 . 平成 23年度県立学校健康管理医( 産業医 )報酬額について

“ 産業医 ” の文言を削除した上で承認することとなった。

- 7 . 医療廃棄物の適正処理について( お願い )

医療廃棄物の処理に関してトラブルも発生していることから、医療機関の責任と適正処理について、改めて注意喚起の文書を発信することが承認された。

- 8 . 業務委託について

肝炎ウイルスに関する検査事業の委託契約について

→契約を締結することが承認された。また、宮崎市との契約締結や会員に対しての周知に関しても積極的に取組むことが確認された。

## ( 報告事項 )

- 1 . 4 /11(火) ( 県医 )九州厚生局宮崎事務所との保険医療機関の指導計画等打合せについて

- 2 . 4 /11(火) ( 宮大附属病院 )宮崎県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会について

- 3 . 「 医師臨床研修制度 」に係る勤務医委員会臨床研修医部会からの意見・提言について

- 4 . JM A T 宮崎県医師会チームの状況について

- 5 . その他

公益法人化準備委員会について

## 医師連盟関係

## ( 報告事項 )

- 1 . 4 /10(日)県議会議員選挙について

## 平成 23年 4 月 19日(火) 第 3 回常任理事会

## 医師会関係

## ( 協議事項 )

- 1 . 社保審査委員の推薦について

任期満了に伴う審査委員について、推薦状況の報告と透析医会から提出されている

要望等の説明が行われ、今後、状況を勘案した上で、選任基準(内規)に従い調整していくことが確認された。

## 2. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県公害健康被害認定審査会委員及び公害健康被害診療報酬審査委員の推薦について

→引き続き、現職の松尾剛志先生を推薦することが承認された。

教職員疾病審査委員の推薦について

→委員の辞任に伴う推薦依頼で、後任の選出を県産婦人科医会に依頼することが承認された。

## 3. 後援・共催名義等使用許可について

「看護の日」行事「みやざきナースToday 2011」の後援について

→後援することが承認された。

## 4. 5 / 21(佐賀)九州医師会連合会第 318 回常任委員会並びに第 101 回定例委員総会の開催について

常任委員会に稲倉会長、委員総会に稲倉会長を含む 8 名の委員の出席が承認され、後日、事務局から出席確認を行うこととなった。また常任委員会への提出議題については会長一任とすることが承認された。

## 5. 6 / 25(県医)県医師会定例総会等について

日程と現時点のスケジュール確認が行われ、特別講演は、本県から派遣した JMAT の報告等を中心に行うことが承認された。

## 6. 「医療従事者のための英語講座(初級)」について

昨年に引き続き協力していくことが承認された。

### (報告事項)

#### 1. 週間報告について

#### 2. 4 / 16(佐賀)九医連常任委員会について

#### 3. 4 / 14(県医)広報委員会について

#### 4. 4 / 14(県医)病院部会・医療法人部会合同理事会について

#### 5. 4 / 14(日医)日医ホームページ検討WGについて

#### 6. その他

シンボルマークの商標登録について

公益法人準備委員会について

新型インフルエンザ(A/H1N1)について

→3月31日をもって感染症法における新型インフルエンザ等感染症から、通常の季節性インフルエンザに移行したため、県医FAXニュースなどを用いて、会員へ周知する予定であることが報告された。

### 医師連盟関係

#### (報告事項)

#### 1. 4 / 16(佐賀)九州医連連絡会常任執行委員会について

平成 23 年 4 月 26 日(火) 第 1 回全理事会

### 医師会関係

#### (議決事項)

#### 1. 5 / 19(宮崎)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

役員 1 名の立ち合いが承認された。

#### 2. 6 / 13(佐賀)平成 23 年度九州各県保険医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議における提出議題の回答について

行政等に確認を行い、担当理事を中心に回答案をまとめることが承認された。

#### 3. 平成 23 年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

4 名の先生を推薦することが承認された。

#### 4. 本会外の役員等の推薦について

平成 23 年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育長表彰推薦審査委員の委嘱並びに同審査会の開催

- について  
→前期に引き続き、稲倉会長と富田副会長を推薦することが承認された。また、5月24日(火)に16:00から審査会が開催されることが報告された。
5. 後援・共催名義等使用許可について  
9/3(土)~4(日)第5回九州心臓リハビリテーション研究会及び第5回宮崎循環器市民公開講座における後援依頼について  
→後援することが承認された。
6. 6/1(水)日医 都道府県医師会環境保健担当理事連絡協議会の開催について  
吉田常任理事が出席することが承認された。
7. 業務委託について  
県立学校における長時間勤務職員に対する医師による面接指導の委託契約について  
→契約を締結することが承認された。  
妊婦及び乳児の健康診査並びに審査事務の委託契約について  
→契約を締結することが承認された。
8. 母体保護法指定医指定申請について  
新規1名の指定が承認された。
9. 7/30(土)秋田 第7回男女共同参画フォーラムの開催について  
荒木常任理事が出席することが承認された。
10. 8/24(水)~25(木)日医 第5回社会保険指導者講習会の開催日程について  
「画像診断update - 視検査の組み立てから診断まで」をテーマに開催することが報告され、講習会への参加者及び復講等の企画については、上田理事に一任することが承認された。
11. 8/2(土)~21(日)『中四九地区医師会看護学校協議会』への担当理事派遣のお願いについて  
長倉理事が出席することが承認された。
12. 医師会立看護学校卒業者就業状況について  
今後、継続的に調査することとなり、分析データを県への要望等に活用していくことが承認された。
13. 東北地方太平洋沖地震の発生に伴う転学等希望者の受入れについて  
事務局から該当の郡市医師会に再確認を行った上で、調査結果を日医に報告することが承認された。
14. 5・6月の行事予定について  
5月の追加行事と6月の行事について確認が行われた。
15. その他  
総会までの日程について  
→総会までの主な行事とスケジュールについて再確認が行われた。
- (報告事項)
1. 4/24(日)日医 日医定例代議員会等について
2. 4/26(火)九州厚生局宮崎事務所 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
3. 4/22(金)日医 日医地域医療対策委員会について
4. 4/21(木)県医 産業医部会理事会について
5. 4/25(月)県医 県臨床研修運営協議会について
6. 4/22(金)県医 広報委員会について
7. 4/13(水)県医 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について
8. 4/23(土)東京 全医秘協医療保険請求事務実技試験委員会・常任委員会・運営委員会について
9. その他  
公益法人化準備委員会について  
医師協同組合・エムエムエスシー関係
- (議決事項)
1. 組合員加入承認について  
1名の新規加入が承認された。

( 報告事項 )

1 . 4 /26( 県医 ) 医協運営委員会について

医師連盟関係

( 議決事項 )

1 . 6 /14( 日医連医政活動研究会の開催につ  
いて吉田常任執行委員 , 清山知恵先生が出席  
することが承認された。2 . 5 /14( 社 ) 自民党宮崎県支部連合会総務会の開  
催について河野副委員長が出席することが承認さ  
れた。

## 5 月のベストセラー

- |    |                                          |       |       |            |
|----|------------------------------------------|-------|-------|------------|
| 1  | 心を整える。<br>勝利をたぐり寄せるための 56 の習慣            | 長 谷 部 | 誠     | 幻 冬 舎      |
| 2  | 夢をかなえるゾウ 文庫版                             | 水 野   | 敬 也   | 飛 鳥 新 社    |
| 3  | 日本人の誇り                                   | 藤 原   | 正 彦   | 文 藝 春 秋    |
| 4  | ゴーストハント 死霊遊戯                             | 小 野   | 不 由 美 | メディアファクトリー |
| 5  | 先送りできない日本<br>“ 第二の焼け跡 ” からの再出発           | 池 上   | 彰     | 角 川 書 店    |
| 6  | 日本男児                                     | 長 友   | 佑 都   | ポ プ ラ 社    |
| 7  | 謎解きはディナーのあとで                             | 東 川   | 篤 哉   | 小 学 館      |
| 8  | 大人の流儀                                    | 伊 集 院 | 静     | 講 談 社      |
| 9  | いねむり先生                                   | 伊 集 院 | 静     | 集 英 社      |
| 10 | 続・体脂肪計タニタの社員食堂<br>もっとおいしい 500cal のまんぷく定食 | タ ニ   | タ     | 大 和 書 房    |

宮脇書店本店調べ 提供 : 宮崎店 ( 宮崎市青葉町 ) ☎ ( 0985 ) 23-7077

# 県 医 の 動 き

( 5 月 )

7	九医連監査( 鹿児島 ) 富田副会長 )	23	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会研究・ 研修委員会( 事務局 ) 県内科医会理事会 がん検診受診勧奨に関する研修会( 会長他 )
8	全国有床診療所連絡協議会役員会( 東京 ) ( 河野副会長 )	24	県学校保健会理事会( 会長他 ) 県学校保健会理事・評議員会( 会長他 ) 学校保健・学校安全に関する文部科学大臣表彰 及び県教育長表彰審査会( 会長他 ) 第 6 回常任理事会( 会長他 )
10	治験審査委員会( 富田副会長他 ) 第 4 回常任理事会( 会長他 )	25	奥様医業経営塾( 医協事務局 ) 全国医師国保組合連合会代表者会( 東京 ) 労災診療指導委員会( 河野副会長他 ) 県健康づくり協会評議員会( 富田副会長 ) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 ( 河野副会長 ) 県アイバンク協会理事会( 会長 ) 広報委員会( 荒木常任理事 )
11	奥様医業経営塾( 医協事務局 ) 支払基金幹事会( 会長 ) 宮崎市郡医師会 5 月例会・しのめ医学会( 会長 )	26	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会( 石川常任理事 ) 公益法人化検討委員会( 会長他 )
12	県内科医会会計監査 県産婦人科医会常任理事会( 濱田常任理事 )	27	県医諸会計監査( 会長他 ) 南那珂医師会定時総会
13	医協会計監査( 会長他 ) 労災部会会計監査 医家芸術展世話人会( 河野副会長他 ) 勤務医部会理事会	28	県外科医会理事・評議員会( 大塚常任理事他 ) 県整形外科医会評議員会( 河野副会長他 ) 県外科医会総会( 大塚常任理事他 ) 県整形外科医会総会( 河野副会長他 ) 労災部会総会( 河野副会長他 ) 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学 会( 河野副会長他 )
14	自民党県連総務会( 河野副会長 ) 産業医部会総会・研修会( 会長他 )	30	県腎臓バンク理事会( 会長 ) 県健康づくり協会理事会( 会長他 ) 県内科医会評議員会
16	県内科医会学術委員会 広報委員会( 富田副会長他 )	31	医協理事会( 会長他 ) 第 2 回全理事会( 会長他 ) 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇 談会( 会長他 )
17	日医連執行委員会( 日医 ) 会長他 ) 第 5 回常任理事会( 富田副会長他 )		
18	全体課長会( 事務局 ) 日医乳幼児保健検討委員会( 日医 ) 佐藤常任理事 )		
19	社会保険医療担当者( 医科 ) の個別指導( 済陽理事 ) 日医ホームページ検討WG( 日医 ) 荒木常任理事 ) 県総合計画審議会・専門部会合同会議( 会長 ) 県医学会役員会( 会長他 )		
20	予防接種委員会( 河野副会長他 )		
21	九医連常任委員会( 佐賀 ) 会長 ) 九医連定例委員総会( 佐賀 ) 会長他 ) 九州医連連絡会執行委員会( 佐賀 ) 会長他 )		

**ご 案 内**

第 6 回定例総会を下記のとおり開催しますので、  
ぜひご出席ください。

**平成 23 年度  
第 6 回宮崎県医師会定例総会  
第 63 回宮崎県医師連盟大会**

と き 平成 23 年 6 月 25 日(土) 15: 40~ 18: 00  
ところ 宮崎県医師会館 2 階研修室

**■ 第 63 回宮崎県医師連盟大会**

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 会務報告
4. 閉 会

**■ 第 6 回定例総会**

1. 開 会
2. 物故会員に対する弔意黙祷
3. 県医師会長挨拶
4. 来賓祝辞及び来賓紹介(祝電披露)
5. 宮崎県医療功労者知事表彰
6. 永年勤続代議員表彰
7. 永年勤続県医師会事務職員表彰
8. 各種祝賀(高齢会員並びに各種表彰)
9. 議事録署名人選出
10. 報 告
  - 1) 代議員会における議決事項
  - 2) 会務報告

**11. 議 事**

議案第 1 号 平成 23 年度宮崎県医師会各会計  
収入支出決算に関する件  
一般会計  
福祉特別会計  
会館管理特別会計  
サービス評価事業特別会計  
介護サービス調査機関特別会計  
治験促進センター機構特別会計

**12. 閉 会****■ 特別講演**

( 17: 00~ )

演題「宮崎県医師会 J M A T 報告」

講師 平田東九州病院

長 井 正 寿 先生

宮崎善仁会病院

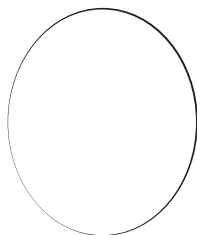
廣 兼 民 徳 先生

ひろの内科クリニック

弘 野 修 一 先生

## ニューメンバー

すぎもと たかふみ  
杉 本 隆 史



住 所：宮崎市

専門科目：精神科

家族構成：妻，娘二人

略 歴：

昭和 50年 関西医科大学卒業

北大病院，国立大阪病院，関西医大  
病院等を経て内村病院，野崎病院  
勤務。

平成 3年 4月より平成 23年 3月まで  
県職員。

趣 味：少林寺拳法，将棋

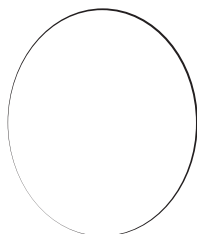
抱 負：

今年 4月より，あいクリニックに  
勤務しております。

あいクリニックは，女性の方によ  
る設計だそうで，花々の多い心地よ  
い職場です。

50歳を過ぎて始めた少林寺拳法  
も，60歳を前に始めた将棋も進歩が  
なく，年齢を感じる今日この頃です  
が，楽しみのために続けたいと思っ  
ています。

うえだ あつと  
上 田 厚 登



住 所：宮崎市

専門科目：皮膚科領域一般

家族構成：妻，長男( 2 歳 )

略 歴：

平成 12年 3月 久留米大学医学部  
卒業

平成 12年 4月 長崎大学第 1 内科

平成 13年 4月 久留米大学皮膚科  
入局

平成 20年 5月 社会保険田川病院  
皮膚科

平成 21年 8月 朝倉医師会病院  
皮膚科

趣 味：映画鑑賞

抱 負：

平成 23年 4月 1 日付で中野医院に  
2 度目の勤務となりました。3 年前  
に当院退職後は大学関連病院で皮膚  
科医長として勤務しておりました。  
近々開業も予定しております。今回  
はより専門的なレーザー・美容医療  
について勉強させて頂く機会に恵ま  
れ，3 年ぶりに再度お世話になるこ  
ととなりました。少しでも地域の皮  
膚科医療に貢献できますように努力  
致しますので医師会の諸先生方のご  
指導，ご鞭撻のほど宜しくお願い申  
し上げます。

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	a	d	a	b	e	a	d	e	b

## お知らせ

## 第 12 回 宮崎県医師会 医家芸術展

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成 12 年から始まった宮崎県医師会医家芸術展も、本年度で第 12 回を開催する運びとなりました。今回は 44 名の皆様から 100 点のご応募をいただきました(6 月 2 日現在)。

毎年、約 1,100 名を超える皆様にご来場者いただき、県民と医師との懸け橋になっています。今年は下記の日程で開催いたしますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：平成 23 年 7 月 6 日(水)～ 10 日(日) (5 日間) 10:00～ 18:00

(但し、10 日(日)は 10:00～ 15:00 まで)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー

出展作品：写真、書道、絵画

出 展 者：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 ☎ 0985-22-5118

## 写 真 部 門

井ノ口 信 子(宮崎市)	烏 野 未留子(宮崎市)	押 川 紘一朗(宮崎市)
木 谷 靖(延岡市)	楠 元 正 輝(宮崎市)	桑 原 淑 子(小林市)
竹 尾 康 男(宮崎市)	田 崎 高 伸(宮崎市)	田 中 宏 幸(宮崎市)
田 中 みどり(国富町)	田 平 優 貴(宮崎市)	西 村 篤 乃(宮崎市)
日 高 利 昭(延岡市)	丸 田 英 夫(新富町)	康 田 明 照(日向市)
渡 邊 命 平(日向市)	渡 邊 美 子(日向市)	

## 書 道 部 門

岡 村 公 子(延岡市)	尾 上 孝 子(宮崎市)	甲斐原 友 美(延岡市)
篠 原 由紀子(宮崎市)	谷 脇 かおる(延岡市)	戸 島 万 美(延岡市)
日 高 芳 則(延岡市)	美 原 矩 子(宮崎市)	山 内 欣(宮崎市)
弓 削 和 子(宮崎市)	弓 削 三重子(宮崎市)	吉 山 登志子(都城市)

## 絵 画 部 門

安 藤 宣(西都市)	石 川 万佐子(宮崎市)	押 川 千賀子(宮崎市)
黒 川 基 樹(宮崎市)	齋 藤 幸(えびの市)	瀬戸口 敏 明(都城市)
竹 村 龍之助(宮崎市)	富 田 明 美(西都市)	中 島 知 徳(宮崎市)
長 沼 恭 子(延岡市)	長 沼 弘三郎(延岡市)	藤 木 洩(宮崎市)
丸 田 眞 美(新富町)	吉 山 絢 子(都城市)	吉 山 政 敏(都城市)

(敬称略・各部門 50 音順・平成 23 年 6 月 2 日現在)

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 23年 5 月 16日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しております。ご覧ください。

### 1 . 求職者登録数 2 人

#### 1 ) 男性医師求職登録数 2 人 ( 人 )

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
内 科	1	常勤
整 形 外 科	1	常勤

#### 2 ) 女性医師求職登録数 0 人

### 2 . 斡旋成立件数 36人

#### 1 ) 男性医師 25人 2 ) 女性医師 11人

### 3 . 求人登録 79件 294人 ( 人 )

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
内 科	90	常勤( 63), 非常勤( 27)
循 環 器 科	14	常勤( 14)
呼 吸 器 科	4	常勤( 4 )
外 科	28	常勤( 23), 非常勤( 5 )
整 形 外 科	22	常勤( 18), 非常勤( 4 )
産 婦 人 科	2	常勤( 2 )
眼 科	8	常勤( 7 ), 非常勤( 1 )
耳 鼻 咽 喉 科	1	常勤( 1 )
泌 尿 器 科	2	常勤( 2 )
皮 膚 科	2	常勤( 2 )
放 射 線 科	8	常勤( 7 ), 非常勤( 1 )
リハビリテーション科	4	常勤( 2 ), 非常勤( 2 )
脳 神 経 外 科	14	常勤( 10), 非常勤( 4 )
神 経 内 科	3	常勤( 3 )
精 神 科	18	常勤( 14), 非常勤( 4 )
麻 酔 科	11	常勤( 7 ), 非常勤( 4 )
小 児 科	6	常勤( 5 ), 非常勤( 1 )
血 液 内 科	3	常勤( 3 )
人 工 透 析	2	常勤( 2 )
健 診	3	常勤( 2 ), 非常勤( 1 )
検 診	2	非常勤( 2 )
消 化 器 内 科	12	常勤( 12)
救 命 救 急 科	3	常勤( 3 )
そ の 他	32	常勤( 30), 非常勤( 2 )

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
150005	医 )わか会ピア・メンタル ささき病院	宮 崎 市	精	1	常勤
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	2	非常勤
160013	医 )三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳 , 整 , 放 , 麻 , 内	8	常勤・非常勤
160020	財 )弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精 , 内	2	常勤
160031	医 )同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼 , 神内 , 眼 , 耳 , 総診 , 呼外 , 循 臨病	9	常勤
160033	医 )如月会 若草病院	宮 崎 市	内 精	3	非常勤
170040	医 )いなほ会 日高医院	宮 崎 市	内	1	常勤
170046	医 )社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	内 , 消内 , 内泌糖内 呼 , 放 , リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医 )慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内 眼	2	常勤
170052	医 )春光会	宮 崎 市	外 , 内	3	常勤
180061	医 )あいクリニック	宮 崎 市	精	1	非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内 , 神内 , 整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内	3	常勤
190089	医 )社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳 , 内 , 麻	4	常勤・非常勤
190094	医 )耕和会 迫田病院	宮 崎 市	整 , 内	3	常勤
190096	医 )晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化 外 総内 麻 放 精 整 , 循	13	常勤・非常勤
200103	社 )八日会 藤元中央病院健診センター	宮 崎 市	健診	1	常勤
200104	医 )社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内 , 外 , 救急 , 化療 , リハ	6	常勤
200105	医 )誠友会 南部病院	宮 崎 市	内 , 外 , 放	3	常勤
210110	医 )幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内 , リハ	5	常勤・非常勤
220121	医 )社団 星井眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
220123	医 )仁和会 介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
220125	医 )仁和会 竹内病院	宮 崎 市	外 , 脳 , 整	3	常勤
230128	医 )真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内	1	常勤
230132	医 )康友会	宮 崎 市	内	1	常勤
160008	医 )正立会 黒松病院	都 城 市	内 泌	2	常勤
160010	特医 )敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内 , 老内	2	常勤
160018	医 )宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内 , 救急 , 整 脳 , 外	8	常勤
170057	医 )清陵会 隅病院	都 城 市	内 , 外 , 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内 , 血内 , 循 呼 , 内 脳 , 産婦	9	常勤
180069	社 )八日会 大悟病院	三 股 町	精 , 内	2	常勤
180081	医 )恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内 呼	4	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
190093	社 )八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
200106	医 )宏仁会 海老原内科	都 城 市	内 外	4	常勤・非常勤
210108	特医 )敏和会 みまた病院	三 股 町	内 消内 循皮 整 婦小 , 呼 放	10	常勤
210113	医 )邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社 )八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医 )倫生会 三州病院	都 城 市	外 内 麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
160034	特医 )健寿会 黒木病院	延 岡 市	外 消内 緩ケア	4	常勤
160036	医 )久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内 外麻 精 神内 脳外 , 老施	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医 )育生会 井上病院	延 岡 市	産婦 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内 小 外 整	8	常勤・非常勤
210112	医 )嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医 )誠和会 和田病院	日 向 市	外 内 整 透	7	常勤
230130	医 )フボール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医 )向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内 麻	4	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内 放 外 小	4	常勤
160023	医 )宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整 内 心内 眼 健診 循 脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼 循 消内 外	8	常勤
180077	医 )聖山会 川南病院	川 南 町	眼 麻 脳	10	常勤・非常勤
160024	医 )隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内 外 整	6	常勤・非常勤
150002	医 )慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医 )同仁会 谷口病院	日 南 市	精	2	常勤
160022	医 )愛鍼会 山元病院	日 南 市	内 消内 神内	3	常勤
160037	医 )十善会 県南病院	串 間 市	精 内	6	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内 神内 整 外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医 )月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医 )秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
160019	医 )相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医 )和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内 循 呼 血内 健診 放 小	11	常勤
180076	医 )友愛会 園田病院	小 林 市	外 内 整	4	常勤
190090	特医 )浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医 )友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整 内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内 泌 透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内 整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 23 年 5 月 16 日現在

1 . 譲渡物件	<u>宮崎市大字瓜生野 1645-3( 矢野整形外科跡 )</u> 土地：562.6坪：1,859.89㎡ 建物：鉄筋コンクリート造り 3 階建( 面積 1,047.89㎡：316.98坪 )
	<u>宮崎市本郷南方 5465-6( 診療所跡 )</u> 土地 1704.26㎡( 516.4坪 ) 建物：重量鉄骨造 2 階建( 平成 3 年築 ) 1 階 420.53㎡( 127.4坪 ) , 2 階 340.79㎡( 103.3坪 ) 駐車場：25台分
2 . 賃貸物件	<u>日南市園田 2 -2 -5( 診療所跡 )</u> 建物：鉄骨コンクリート造 2 階建 1 階 147.17㎡ , 2 階 54.66㎡ 日南市油津で町の中心部です。
	<u>宮崎市曾師町 209-3( 診療所跡 )</u> 建物：鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35㎡ , 2 階 166.69㎡ 駐車場：10台分
	<u>日向市原町 2 丁目 4 番 6 号( 医療法人社団 日向内科医院 )</u> ホームページ： <a href="http://hyuga-naka.net/">http://hyuga-naka.net/</a> “ 当医院の後継者を探しています。 ” 当分の間は , 2 人体制で現診療所を継続しながら , 将来的には診療所の譲渡を視野に入れ円滑な事業承継を図って行きたいと考えます。 建物：鉄筋コンクリート造 2 階建( 建物 1 階約 100坪・2 階約 100坪 ) 土地：200坪 駐車場：22台( 150坪 )可

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100 ☎ FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyou@m-iyazakimед.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 23年 5 月 31日現在

6			月		
1	水	10: 30 奥様医業経営塾（医協事務局）	13	月	
		13: 30 （日医）都道府県医師会環境保健担当理事連絡協議会	14	火	19: 00 第 7 回常任理事会
		19: 00 県有床診療所協議会役員会	15	水	9 : 10 全体課長会（事務局） 10: 30 奥様医業経営塾（医協事務局）
2	木	11: 00 社会保険医療担当者（医科）の個別指導	16	木	15: 00 （日医）日医広報委員会 19: 00 学校医部会理事・評議員会
		18: 30 病院部会・医療法人部会合同総会			
3	金	16: 00 九医連常任委員会	17	金	14: 00 産業医研修会 19: 15 広報委員会
		17: 00 九州各県医療保健福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議	18	土	14: 00 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会
4	土	14: 00 勤務医部会会計監査	19	日	
		14: 30 勤務医部会理事会			
5	日	15: 30 勤務医部会総会・前期講演会	20	月	18: 30 医協総代会 19: 00 県内科医会誌編集委員会 19: 20 県医連執行委員会 19: 45 県医定例代議員会
6	月	19: 00 母体保護法指定医指定証交付式	21	火	15: 00 （日医）都道府県医師会長協議会
		20: 00 県産婦人科医会学術委員会			
7	火	15: 00 県医療審議会	22	水	13: 00 （日医）都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会 19: 00 県医介護支援専門員連絡協議会理事会
		16: 00 地方公務員災害補償基金県支部審査会			
		18: 00 治験審査委員会 18: 40 県医連常任執行委員会 19: 00 互助会定時評議員会 終了後 第 3 回全理事会	23	木	18: 30 産業医研修会
8	水	14: 00 産業医研修会	24	金	18: 00 西諸医師会通常総会 19: 00 広報委員会
		16: 00 支払基金幹事会 19: 30 日本産科婦人科学会専門医制度宮崎地方委員会	25	土	15: 40 医師連盟大会・県医定例総会・特別講演
9	木	13: 30 宮日母子福祉事業団評議員会	26	日	16: 00 県小児科医会役員会
		19: 00 公益法人化検討委員会 19: 30 県産婦人科医会常任理事会	27	月	17: 00 県と県内経済団体等との意見交換会
10	金	15: 00 （日医）日医医療秘書認定試験委員会	28	火	18: 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18: 30 第 4 回全理事会 19: 00 県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会
		17: 30 宮大医学部附属病院マッチング説明会 会 & 県内基幹型臨床研修病院説明会 19: 30 県産婦人科医会ガン対策委員会			
11	土	16: 00 県内科医会総会・学術講演会	29	水	10: 30 奥様医業経営塾（医協事務局） 15: 00 労災診療指導委員会
12	日	13: 00 （日医）日医連医政活動研究会			
都合により，変更になることがあります。			30	木	19: 00 予防接種勉強会

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 23 年 5 月 31 日現在

7 月			
1	金	14: 30 (日医) 日医地域医療対策委員会	16 土
2	土	9: 00 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	
3	日	9: 00 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	17 日
		10: 00 研修病院説明会レジナビフェア	18 月
4	月		19 火
5	火	18: 00 治験審査委員会 18: 30 第 5 回全理事会 19: 20 各都市医師会長協議会	20 水
			21 木
6	水	14: 00 産業医研修会 16: 00 支払基金幹事会	22 金
7	木	19: 00 健康スポーツ医学委員会	23 土
8	金		
9	土	14: 00 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	24 日
		16: 00 各都市医師会・医師国保組合各支部等職員事務研修会	25 月
		18: 30 日本柔道整復師会九州学会宮崎大会前夜祭	26 火
10	日	9: 30 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	27 水
11	月	14: 00 産業医研修会 19: 00 健康教育委員会	
12	火	18: 30 第 6 回全理事会 19: 00 新研修医保険診療等説明会及び祝賀会	28 木
13	水	10: 30 奥様医業経営塾(医協事務局)	
14	木	19: 30 県産婦人科医会常任理事会	29 金
15	金	全国アイバンク連絡協議会(事務局)	30 土
		14: 00 産業医研修会 19: 15 広報委員会	31 日

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。  
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 ( 1.5単位 ) ( CC : 22,23,24 )	6 月 2 日(木) 19 00~ 21 00 都城ロイヤルホテル	良質な血糖改善を目指した糖尿病治療戦略 - CGM から見た良質な糖尿病治療とは？ - 産業医科大学第一内科講師 岡田 洋右	主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 武田薬品工業(株)
宮崎市郡産婦人科医会第 44回症例検討会 ( 1 単位 ) ( CC : 2 , 9 )	6 月 2 日(木) 19 30~ 20 30 宮崎市郡医師会病院	各医院からの紹介例 県立宮崎病院産婦人科 嶋本 富博	主催 宮崎市郡産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434
宮崎アテローム血栓症フォーラム ( 1.5単位 ) ( CC : 73 )	6 月 3 日(金) 19 00~ 21 00 ホテルJALシティ宮崎	2 型糖尿病患者のアテローム性動脈硬化 大阪大学先端科学イノベーションセンター招聘教授 山崎 義光	共催 宮崎県内科医会 大塚製薬(株) ☎ 0985-29-2287
延岡医学会学術講演会 ( 1 単位 ) ( CC : 73,75 )	6 月 3 日(金) 19 15~ 20 30 ホテルメリージュ延岡	冠動脈疾患の脂質管理 - 積極的脂質低下療法について - 済生会熊本病院循環器内科部長・医療連携部長 中尾 浩一	共催 延岡医学会 アストラゼネカ(株) ☎ 092-283-8461 塩野義製薬(株) 後援 延岡内科医会
宮崎県医師会勤務医部会講演会 ( 2 単位 ) ( CC : 3 , 7 , 8 , 9 )	6 月 4 日(土) 16 00~ 18 00 県医師会館	勤務医のための医療と経済の基礎知識 - 今，必要なのは産業論的戦略行動。不要なのはDPC - 愛媛大学医療情報学教授 石原 謙	主催 宮崎県医師会勤務医部会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 11 回宮崎県皮膚 科懇話会 ( 1 単位 ) ( CC : 9 )	6 月 4 日(土) 18 30~ 20 15 シェラトン・グラン デ・オーシャンリ ゾート	お茶石 鯨アレルギーの顛末 島根大学医学部皮膚科学教授 森田 栄伸	共催 宮崎県皮膚科医会 田辺三菱製薬(株) ☎ 0985-32-9205
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( CC : 8 ,11)	6 月 8 日(水) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(6)作業環境管理・作業管理 騒音難聴を防ぐために必要なこと 宮崎大学医学部公衆衛生学教授 黒田 嘉紀	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
西臼杵地区学術講 演会 ( 1.5 単位 ) ( CC : 10,76,82)	6 月 9 日(木) 18 45~ 20 30 ホテル高千穂	糖尿病患者における高血圧治療戦略 高千穂町立病院内科医長 和氣 仲庸 BO T ( Basal supported oral therapy ) の インスリン導入 熊本地域医療センター代謝内科部長 笹原 誉之	共催 西臼杵郡医師会 延岡市西臼杵郡薬剤 師会西臼杵部会 第一三共(株) ( 連絡先 ) 佐藤医院 ☎ 0982-73-2010
宮崎木曜会学術講 演会 ( 1 単位 ) ( CC : 53,54)	6 月 9 日(木) 18 45~ 20 30 ホテル JAL シティ 宮崎	炎症性腸疾患の診断 大阪鉄道病院消化器内科部長 清水 誠治	共催 宮崎木曜会 エーザイ(株) ☎ 0985-26-2676
第 4 回宮崎インター ベンション研究会 ( 1.5 単位 ) ( CC : 8 ,74,82)	6 月 9 日(木) 19 15~ 21 00 宮崎観光ホテル	My Strategies of Complex EVT Cases 菊名記念病院循環器内科部長・ 心臓血管センター長 宮本 明	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 田辺三菱製薬(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 6 回宮崎心臓リ ハビリテーション セミナー ( 1.5単位 ) ( CC : 2 , 9 , 11)	6 月 10日(金) 18 50~ 20 30 JA A ZM ホール	10年目の変身 - 歴史を振り返りながら - 社会保険小倉記念病院リハビリテー ション健康運動指導士・検査技師 木村 多寿子 心臓病のスポーツリハビリ - 心臓病の方が安心してスポーツを楽し める社会へ... - 大阪産業大学スポーツ健康学科 准教授 佐藤 真治	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 日本化薬(株)
延岡医学会学術講 演会 ( 1 単位 ) ( CC : 73, 78)	6 月 10日(金) 19 15~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	脳卒中リハビリテーションの新しい取り 組み - 回復期・維持期リハの戦略と現状の ギャップ - 鹿児島大学リハビリテーション 医学診療講師 松元 秀次	共催 延岡医学会 サノフィ・アベン ティス(株) ☎ 080-5098-5716 後援 延岡内科医会
第 14回宮崎県認知 症かかりつけ医研 修会 ( 1.5単位 ) ( CC : 13, 14, 29)	6 月 11日(土) 14 00~ 17 00 延岡市医師会館	高齢者の体と心の健康を考えて あたご整形外科 富田 精一郎	共催 宮崎県認知症かかり つけ医研修会 エーザイ(株) 宮崎県医師会 ( 連絡先 ) 協和病院 ☎ 0982-54-2806
宮崎県内科医会総 会並びに学術講演 会 ( 2 単位 ) ( CC : 15, 61, 73, 77)	6 月 11日(土) 16 00~ 19 00 宮崎観光ホテル	寛解を目指す関節リウマチ治療 市民の森病院膠原病リウマチセンタ ー 所長 日高 利彦 骨粗鬆症の新しい概念 - 新規薬剤をいかに使うか - 大阪市立大学代謝内分泌病態内科学 教授 稲葉 雅章	共催 宮崎県医師会 宮崎県内科医会 ☎ 0985-22-5118 中外製薬(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎市郡産婦人科 医会 6 月例会 ( 1 単位 ) ( CC : 2 , 9 )	6 月 13 日 ( 月 ) 19 00 ~ 20 00 ホテルスカイタワー	妊娠と糖尿病に関する新たな展開 宮崎大学医学部附属病院 産婦人科学教授 鮫島 浩	主催 宮崎市郡産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434 日本新薬(株)
第 64 回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 ( 2 単位 ) ( CC : 1 , 8 , 9 , 13 )	6 月 15 日 ( 水 ) 19 00 ~ 21 00 宮崎観光ホテル	高度石灰化大動脈弁狭窄に対する治療 戦略 榊原記念病院心臓血管外科主任部長 高梨 秀一郎	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 興和創薬(株)
日向市東臼杵郡内 科医会学術講演会 ( 1 単位 ) ( CC : 8 , 32 )	6 月 15 日 ( 水 ) 19 00 ~ 21 00 ホテルペルフォート 日向	2 型糖尿病治療のパラダイムシフト 潤和会記念病院糖尿病・代謝内科 部長 水田 雅也	共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 武田薬品工業(株)
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( CC : 11, 74, 76, 82 )	6 月 17 日 ( 金 ) 14 00 ~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(3)健康管理 メタボリックシンドローム(生活習慣病) 対策 都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第 10 回 M C D Joint M eeting ( 1 単位 ) ( CC : 75, 76 )	6 月 17 日 ( 金 ) 19 00 ~ 20 30 宮崎観光ホテル 500 円	心血管イベント抑制を目指した治療戦略 神戸大学循環器内科学教授 平田 健一	共催 M C D Joint M eeting 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 12回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ( 3 単位 ) ( CC : 2 , 8 , 61 , 63 , 73 , 77 )	6 月 18日(土) 15 45~ 19 00 シーガイアコンベンションセンター 1,000円	股関節鏡up to date 神奈川リハビリテーション病院 整形外科 杉山 肇 大腿骨頭壊死の画像診断・手術のコツと落とし穴 昭和大学藤が丘病院整形外科教授 渥美 敬 変形性股関節症に対する人工股関節置換術 金沢医科大学整形外科教授 松本 忠美	共催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710
九州臨床糖尿病医学会セミナー ( 3 単位 ) ( CC : 5 , 10 , 13 , 23 , 74 , 76 )	6 月 18日(土) 16 40~ 19 55 シーガイアコンベンションセンター	肥満研究の新たな展開と糖尿病への臨床応用 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学教授 中里 雅光 高血圧と糖尿病 宮崎大学名誉教授 江藤 胤尚	共催 九州臨床糖尿病医学会 サノフィ・アベンティス(株) ☎ 080-6817-4968
宮崎 B 型慢性肝疾患学術講演会 ( 1.5 単位 ) ( CC : 13 , 27 , 73 )	6 月 22日(水) 19 00~ 20 30 ホテルJALシティ 宮崎	H B V 関連肝硬変に対するエンテカピルの治療成績 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 蓮池 悟 ウイルス性肝炎・肝癌のトータルケア 香川大学医学部消化器・神経内科教授 正木 勉	共催 宮崎県肝疾患診療連携拠点病院(宮崎大学医学部附属病院) ブリストル・マイヤーズ(株) ☎ 080-5059-4228 後援 宮崎県医師会 宮崎市医師会
日向市東臼杵郡内科医学会学術講演会 ( 1 単位 ) ( CC : 8 , 75 )	6 月 22日(水) 19 00~ 21 00 ホテルベルフォート 日向	当院におけるエゼチミブの使用経験 今給黎医院 久保 浩秀 エゼチミブの脂質代謝改善作用 - 食後高脂血症を中心に - 防衛医科大学校老年内科教授 池脇 克則	共催 日向市東臼杵郡内科医学会 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 バイエル薬品(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
ひむか運動器セミナー ( 1.5 単位 ) ( CC : 8 , 13, 50 )	6 月 22 日 ( 水 ) 19 15 ~ 21 00 宮崎観光ホテル	当院における吐下血を主訴とする救急患者の現状 宮崎善仁会病院長 関屋 亮 より良い非ステロイド性抗炎症薬 ( NSAID s ) による治療を継続するために 藤元早鈴病院消化器内科部長 駒田 直人	共催 ひむか運動器セミナー 宮崎県臨床整形外科医会 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の <u>実地研修会</u> 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( CC : 1 , 11 )	6 月 23 日 ( 木 ) 18 30 ~ 20 30 県医師会館 ( 定員 30 名 )	( 6 ) 作業環境管理・作業管理 労働衛生保護具の使用方法について - 防じん 防毒マスクについて - 下津労働衛生コンサルタント事務所 代表 下津 義博	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 ( 2 単位 ) ( CC : 19, 29, 49, 78 )	6 月 23 日 ( 木 ) 18 45 ~ ガーデンベルズ小林	認知症の診断と治療 - 高度認知症の症例を交えて - 熊本大学医学部附属病院 神経精神科講師 橋本 衛	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 ファイザー(株) エーザイ(株)
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( CC : 11, 69, 70 )	6 月 24 日 ( 金 ) 14 00 ~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	( 4 ) メンタルヘルス対策 職場のストレスとその対処 宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 22回宮崎リウマチ医の会 ( 3 単位 ) ( CC : 1 , 2 , 5 , 61,62,73)	6 月 25日(土) 15 00~ 18 10 M R T m i c c 1,000円	IgG 4関連疾患 現状と展望 金沢医科大学血液・リウマチ膠原病 科准教授 正木 康史 長期予後を見据えたリウマチ性疾患の 治療 慶應義塾大学医学部リウマチ内科 講師 亀田 秀人 人工関節置換術後のDVTとHIT抗体の 意義 長崎医療センター整形外科部長 本川 哲	共催 宮崎リウマチ医の会 日本リウマチ学会 日本リウマチ財団 旭化成ファーマ(株) ☎ 0985-28-2736
宮崎県整形外科セ ミナー ( 2 単位 ) ( CC : 5 , 8 )	6 月 25日(土) 16 00~ 18 00 ホテルスカイタワー	運動器疾患の超音波診断 三財病院整形外科部長 松本 英裕 当院でのサイズスク使用経験 大江整形外科病院整形外科部長 魏 国雄	共催 宮崎県臨床整形外科医会 帝人ファーマ(株) ☎ 099-213-5833
第 14回宮崎県眼科 医会講習会 ( 3 単位 ) ( CC : 36)	6 月 25日(土) 16 30~ 19 30 宮崎観光ホテル 3,000円 ( 開業医 勤務医 ) 2,000円 ( 公的医療機関勤務医 )	眼科領域のMRI 宮崎大学医学部放射線医学准教授 小玉 隆男 テーラーメイド緑内障治療を目指して 山梨大学地域医療学講座准教授 柏木 賢治	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 ファイザー(株)
江南医療連携の会・ 特別講演会 ( 1.5単位 ) ( CC : 8 ,11)	6 月 25日(土) 18 30~ 20 30 ニューウェルシティ 宮崎 500円	感染症関連について( 仮 ) 神戸大学医学部附属病院感染症内科 教授 岩田 健太郎	共催 江南医療連携の会 ファイザー(株) ( 連絡先 ) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位) (2 単位) (CC: 11,12,76)	6 月 29 日(水) 18 30~ 20 30 県医師会館	(3)健康管理 職場における糖尿病管理 宮永内科クリニック院長 宮永 省三	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎市郡内科医会 総会並びに講演会 (1.5 単位) (CC: 13,15,76)	6 月 29 日(水) 19 10~ 21 00 宮崎観光ホテル	糖尿病非専門医が感じた低血糖の恐ろ しさ 宮崎大学医学部地域医療学講座 助教授 矢野 裕一郎 2 型糖尿病治療のパラダイムシフト 潤和会記念病院糖尿病・ 代謝内科部長 水田 雅也	共催 宮崎市郡内科医会 ☎ 0985-53-3434 武田薬品工業(株)
第 13 回宮崎胆膵疾 患研究会 (1.5 単位) (CC: 2 ,51,53)	7 月 1 日(金) 18 45~ 20 30 宮崎観光ホテル 500 円	肝内胆管癌の外科治療 東京女子医科大学消化器外科学 主任教授 山本 雅一	共催 宮崎胆膵疾患研究会 小野薬品工業(株) ☎ 0985-50-0173 後援 宮崎県医師会 宮崎県内科医会
第 65 回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 (1.5 単位) (CC: 3 ,8 ,15)	7 月 1 日(金) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	再生医療と NO の最近の知見 名古屋大学循環器内科学教授 室原 豊明	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 トーアエイヨー(株)
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位) (2 単位) (CC: 11,12)	7 月 6 日(水) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(3)健康管理 家庭・施設(職場)で気をつける感染症 大西医院院長 大西 雄二	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 2 回宮崎感染症 研究会 ( 2 単位 ) ( CC : 2 , 38, 71, 72)	7 月 7 日(木) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル 1,000円	胎内サイトメガロウイルス感染症と周産 期管理 宮崎大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター准教授 金子 正時 先天性サイトメガロウイルス感染と聴覚 障害 福島県立医科大学耳鼻咽喉科学 准教授 小川 洋	共催 宮崎感染症研究会 第一三共株 ☎ 0985-23-5710
第 7 回宮崎消化器 内科セミナー がん検診 胃・大腸) ( 2 単位 ) ( CC : 15, 50, 52, 53)	7 月 8 日(金) 19 00~ 21 00 ホテルJALシティ 宮崎 500円	消化管ESDの現状と今後の方向性 慶應義塾大学消化器内科教授 矢作 直人 腹部領域における画像診断の進歩 九州大学臨床放射線科学教授 本田 浩	共催 宮崎消化器内科セミナー 武田薬品工業株 ☎ 0985-24-6763
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( CC : 1 , 11)	7 月 11日(月) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(8)有害業務管理 化学物質のリスク(有害性)アセスメント 入門 西部労働衛生コンサルタント事務所 代表 矢崎 武	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( CC : 69, 70)	7 月 15日(金) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(4)メンタルヘルス対策 職場のメンタルヘルス 宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研 修・生涯研修の実 地研修会 2 単位 ) ( 2 単位 ) ( CC : 1 , 8 , 11)	7 月 16日(土) 14 30~ 16 30 県医師会館 (定員 30名)	(6)作業環境管理・作業管理 作業環境測定(騒音測定器具を使っ ての実地研修) 宮崎大学医学部公衆衛生学教授 黒田 嘉紀	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 62 回宮崎整形外科懇話会 ( 1 単位 ) ( C C : 19,61 )	7 月 16 日 ( 土 ) 17 00 ~ 18 00 県医師会館 1,000 円	変形性膝関節症の病態と治療 - 高位脛骨骨切り術を中心に - 横浜市立大学整形外科教授 齋藤 知行	主催 宮崎整形外科懇話会 共催 大日本住友製薬(株) ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会(生涯研修の専門研修会 2 単位) ( 2 単位 ) ( C C : 11,69,70 )	7 月 20 日 ( 水 ) 14 00 ~ 16 00 宮崎産業保健推進センター	(4)メンタルヘルス対策 うつ病社員へのカウンセリングの技法 - ロールプレイを通して - 宮崎若久病院長 倉山 茂樹	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎小児感染症研究会 ( 1.5 単位 ) ( C C : 2 ,15 )	7 月 21 日 ( 木 ) 19 15 ~ 21 00 宮崎観光ホテル	小児呼吸器感染症の新たな治療戦略 - 耐性菌の現状と体内動態を考慮した抗菌薬の選択 - 久留米大学医学部小児科学講師 津村 直幹	共催 宮崎小児感染症研究会 宮崎県小児科医会 宮崎県耳鼻咽喉科医会 宮崎県臨床衛生検査技師会 M eiji Seika ファルマ(株) ☎ 0985-25-6215

## 日本医師会生涯教育カリキュラム ( 2009 )

カリキュラムコード( 略称 C C )

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・不正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師・患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常(下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

## はまゆう随筆原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮ってご投稿をお願い致します。毎年皆様に大変ご好評のようです。

題 材：診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。

なお，本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内

締 切：6月30日

宛 先：宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

投稿項目，タイトル，ご氏名を先頭に付記して下さい。

ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として原稿はお返し致しません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

原稿は，FAX，電子媒体にても受け付けております。テキスト形式で保存し，ディスクまたはメールにて下記へお届けください。

FAX 0985 - 27 - 6550

E-mail: genko@m iyazakim ed.or.jp

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書，研修会の案内等)

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

### 会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

MMA通信では，東日本大震災に関する情報も随時，配信しています。  
災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。  
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

問合せ先：宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985-22-5118



表 2 脆弱性骨折予防のための薬物治療開始基準  
骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2006年版

--

表 3 脆弱性骨折予防のための薬物治療開始基準(案)

--

「WHO 骨折リスク評価ツール」画面が出ます。計算ツールで「アジア」、図表で「日本」をクリックしますと表 4 の画面となり、必要事項を入力すると Major osteoporotic と Hip fracture の数字(%)が出ます(現時点から 10年間に前記骨折を起こす確率です)。「FRAX」の利用にはまだ問題点もありますが、骨密度の入力は必須ではないため、骨量測定ができない施設でも薬物治療開始が判断できます。治療は運動(開眼片脚立ち等)や食事など生活習慣の改善を指導しながら、薬物療法を行います。骨吸収抑制効果のあるビスフォスフォネート製剤と SERM(選択的エストロゲン受容体調節薬)製剤がその中心で、昨年 10月

には待望の骨形成促進効果のある PTH 製剤が登場しました。更に今年 4 月に骨吸収抑制効果がより強くなった新型ビタミン D₃製剤も登場しました。これらにカルシトニン製剤、ビタミン K₂製剤を加えた薬剤をどの様に使用していくかがポイントで、そこで必要なのが骨代謝マーカーの測定です。骨代謝マーカーは骨粗鬆症の病態解明、治療方針決定、治療効果評価をする上で有用な臨床指標で、骨吸収マーカーと骨形成マーカーがあります。薬剤選択に必要なのは骨吸収マーカーです。尿中・血中 NTX が主流ですが、日内変動があり、検査時間を一定にする必要があります。最近では日内変動の少ない、いつでも検査可能な TRACP -5b を私は好んで使用しております。結果は骨密度と同様に若年成人平均値と比較し、高値なら骨吸収が進んでいると判断し、骨折リスクが高くなっていますので、骨吸収抑制剤を開始します。薬剤の選択は、比較的若い方には抗乳癌作用、脂質代謝改善効果やお肌の若返り効果もあるとされている SERM 製剤を勧め、年配の方には骨吸収抑制効果がより強いビスフォスフォネート製剤を勧めております。除痛効果のあるカルシトニン製剤をうまく併用し、症例によってビタミン D₃、K₂製剤を併

用します。ただし、併用薬は 2 剤までです。更に治療しているにも関わらず骨折を起こした方は重症骨粗鬆症として PTH 製剤を勧めたいのですが、コストの面に気をを使う必要があります。ビスフォスフォネート製剤では顎骨壊死や非定型大腿骨骨折など治療薬の副作用も報告がありますが、頻度は極めて低く、骨粗鬆症治療のベネフィットを考えると副作用に注意しながら積極的に治療すべきと私は考えます。

最後に、発症すると重篤な「ステロイド性骨粗

鬆症」についてお話しします。こちらガイドラインがあり(表 5)，早期の治療が望まれます。若い方でも脆弱性骨折を起こし、短期間に再骨折を起こす症例を経験しております。治療薬はビスフォスフォネート製剤が第 1 選択薬でビタミン D₃、K₂製剤が第 2 選択薬です。

骨粗鬆症治療の最大の目的は「骨折を起こさない」です。多くの先生方に治療参加して頂き、多くの患者様が治療の恩恵を受けることを願います。

表 4 WHO 骨折リスク評価ツール

--

表 5 ステロイド性骨粗鬆症の管理と治療のガイドライン¹⁾(2004 年度版)

--

## お知らせ

平成 23年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも養成校では力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

(平成 23年 5 月 20日現在)

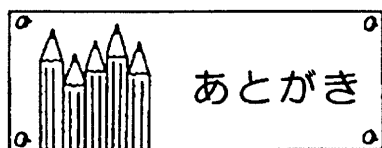
宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 8 名 (女 8 名)	就職希望者 16名 (男 2 名, 女 14名)	就職希望者 9 名 (女 9 名)
連絡先: 0985-85-0146 宮崎市清武町加納 1415 担当: 佐土原 敦 谷口 和子	連絡先: 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当: 福元 進	連絡先: 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当: 谷上 智子 中山さおり 吉原真由美

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名
4 月 20 日	・「会長選挙制度に関する検討委員会」答申の送付について     ・東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震の被災者に係る医療機関での受診・窓口負担について     ・医療機器の保険適用について     ・材料価格基準の一部改正等について
4 月 21 日	・東北地方太平洋沖地震による被災者の公費負担医療の請求等の取扱いについて(その 2)
4 月 25 日	・医師国家試験問題の公募についてご協力をお願い     ・第 28 回日本医学会総会における日本医師会生涯教育制度の単位・カリキュラムコードの付与について
4 月 26 日	・東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震による被災者に係る利用料等の取扱いについて(平成 23 年 4 月 2 日現在)(介護関係)     ・東日本大震災に関する介護報酬等の請求等の取扱いについて(4 月サービス提供分)     ・麻しん患者の増加について     ・私的二次救急医療機関への助成に係る特別交付税の算定概要について
4 月 27 日	・地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について     ・災害等により予防接種を受けられない者に対する特例措置について     ・日本医学会分科会への新規加盟について
4 月 28 日	・家庭用品等による健康被害に関するパンフレットの送付について     ・平成 23 年度日本医師会会費徴収について     ・日本医師会会費減免の手続きおよび会費減免をうける A , A ( B ), A ( C ) 会員の医賠償保険加入の手続きについて     ・「ノルレボ錠 0.75mg」の適正使用への協力依頼について     ・東日本大震災に伴う「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」による請求の取扱いについて(5 月 10 日受付分以降)
4 月 30 日	・「臨床研究に関する倫理指針」第 3 の(4)に基づく倫理審査委員会情報の報告について     ・文書保存に係る取扱いについて(医療分野)     ・医療施設と疾病予防施設等との合築について

送付日	文 書 名
5 月 2 日	・平成 23年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究奨励賞」候補の推薦について     ・医療用医薬品再評価結果 平成 22年度( その 2 )について     ・新医薬品の再審査結果 平成 22年度( その 4 )について     ・ブプレノルフィン経皮吸収型製剤の使用にあたっての留意事項について     ・メトトレキサート製剤の使用にあたっての留意事項について     ・「病原微生物検出情報」,「病原微生物検出情報( 普及版 )」の送付について
5 月 7 日	・「使用上の注意」の改訂について
5 月 9 日	・腸管出血性大腸菌感染症の集団発生について
5 月 10日	・平成 23年度医療の質の評価・公表等推進事業の申請受付について
5 月 11日	・平成 23年度インフルエンザ_{H A} ワクチン製造株の決定について     ・福島県内から避難した要介護高齢者等に関する介護保険施設・事業所等への周知について     ・「東日本大震災に伴う介護報酬上の取り扱いについて( 第 3 版 )」の送付について     ・平成 23年東日本大震災に係る貸付けの特例について
5 月 12日	・「重篤副作用疾患別対応マニュアル」のホームページ掲載について     ・東日本大震災に係る復旧支援 平成 23年度厚生労働省第一次補正予算における一部負担金等の免除等について
5 月 13日	・特例民法法人の活動と政治団体の活動の峻別について     ・新公益法人制度における平成 24年 4 月 1 日の移行登記について( 情報提供 )     ・「使用薬剤の薬価( 薬価基準 )等の一部改正について」の一部差替えについて
5 月 16日	・平成 23年度がん検診推進事業の実施について     ・平成 23年度がん検診受診促進企業連携事業の実施について     ・平成 23年度「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」について     ・母乳の放射性物質濃度等に関する調査結果について     ・災害救助法適用地域における妊婦健康診査事業の対応状況について
5 月 17日	・平成 23年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について
5 月 19日	・運転免許行政の適正な運用のための協力について
5 月 20日	・資料「2012年度の診療報酬・介護報酬同時改定についての日本医師会の申し入れ( 要請 )」の送付について



## あとがき

ているのだとか…。数人が集まり収穫祭の話題で盛り上がる中、私の頭に浮かんでいたのは「タイルとコンクリートでアプローチを造って裏庭の納屋をガレージに改造…」「太陽光発電も欲しいな…」という完全な物欲志向の妄想ばかり。苦笑しつつもそんな自分に何故か安堵し、私の願望を再認識する羽目になりました。

原子力発電に替わるあらたなエネルギー供給源として、出力 1 メガ (= 1,000 キロ) ワットを超える「メガソーラー発電施設」を全国各地に建設(正確には速やかに増設)する構想が進んでいます。クリーンエネルギーとして普通に思いつくのが太陽光発電や風力発電ですが、出力 1 ギガ (= 1,000 メガ = 100 万キロ) ワットで原発一基分に相当するのだとか…。ソフトバンク・孫社長の呼びかけに各自治体が名乗りを上げており、敷地確保のための「農地法」の改正(解釈)と「発電ビジネス」の行方が注目されます。また一方で、東京電力が賠償金を捻出するための電気料金の値上げを民主党が容認した…というマスコミによる「お知らせ」がありました。十分な補償(賠償?)のためには税金ではなく保険料で、否!「電気料金」で…という事なのではないでしょうか。(尾田)

最近では、好きなものは機を逃さずできる限り楽しもうと考えています。少し前の事ですが、月に 2 回もギターのコンサートに行くことが出来ました。ひとつは、ボサノバギターの大御所で教則本も出されている日本人で、国分寺の小さなライブハウスの演奏でした。お客さんはたった 3 人というそれはそれは小さな集まりでしたが、直接お話しすることもできとても素敵なひとときでした。もうひとつは 80 年代に一世風靡した世界的ギタリストで、青山の高級なライブハウスでのバンド演奏でした。私と同世代の人たちを中心に、素晴らしい演奏を目の前で楽しみました。対照的な 2 つのライブでしたが、二人とも私より随分年上、まだまだがんばれ…と自分に喝!

先日、我が家の庭で、梅の実を収穫しました。梅雨に入る前の恒例行事で、子供達も喜々として梅の実ちぎりに参加しました。今年は約 2.4kg と豊作で、早速みんなで梅のヘタを取り、氷砂糖で漬け込みました。夏にはおいしい梅ジュースのできあがりです。一段落つくと子供達は近所のお宅へブルーベリーをちぎりに走っていきました。とったそばから、パクパク頬張る無邪気な姿に、庭で穫れたものを安心して食べられる幸せをかみしめました。こんな年中行事が続くことを祈るばかりです。(坪井)

「茹でガエル」という警句をご存知でしょうか。「生温いお湯にカエルをつけておくと気持ちよくてじっと動かず、徐々に温度を上げて気づかずに茹で上がってしまう」というものです。日本人は原子力という言葉に過敏で原子力発電にも消極的でした。いつの間にか 5 億もの原子炉が稼働しています。「原子力発電は安全・安心」と聞かされ続け、暑ければ冷房、寒ければ暖房と電気を使いたい放題で、いつの間にか日本人は皆「茹でガエル」にされてしまったのではないのでしょうか。(田坂)

医師国家試験を受ける時に、人生で最後の「試験」だと思って乗り越えた記憶がありますが、医師になってからも試験は度々やってきます。前もって試験に向けての計画を立ててもなかなか進まず、ギリギリ

ある友人から引越しの挨拶状が届いたので早速訪ねてみました。周囲を茶畑に囲まれた高台で正面の菜園には、たまねぎ、にんにく、芋、そして柿の低木(甘柿)が 2 本。裏の敷地には竹林があり、竹の子、栗、桜(さくらんぼ)、梅…。ひょっとして自給自足で生活できるのではないかと思えるほど食材と緑に囲まれた環境です。聞けば周囲には民家は 3 軒のみで、リタイアされたご夫婦がゆっくりと流れる時間の中で生活され

になって焦ることの繰り返し…。夏休みの宿題を最初の 3 日で終わらせていた小学生の頃が懐かしくなります。でもご褒美においしいものを食べに行くという目標を立てると、計画以上に頑張れるところだけは大人になったなと感じるこの頃です。(彦坂)

臨床実習が始まりました。小児科・眼科・精神科・薬剤とまわり、現在第一内科で実習を行っています。それぞれの科に特有の面白さや難しさがあるのが現場では良く解ります。現在小児科を希望していますが、小児科では子どもの病態変化の把握の難しさと、病気の子どもを持つ親御さんの気持ちに寄り添うこと、子どもの将来も含めたサポートの大切さを改めて学びました。ところで、第一内科で血管年齢を測ったところ、まさかの 50 代でした。実習も、自分の健康管理も頑張ります。(川崎)

梅雨入りとの報道を聞き、今年も雨の季節かと憂鬱な今日この頃ですが、宮崎大学医学部音楽祭が近日開催されます。私も合唱部の一員として日々練習に励んでいます。小部屋の中で、二時間歌い続けるため、皆、汗びっしょりで練習を終えますが、声をはって歌を歌うと、清々しく、日々の悩みや疲れを忘れられる瞬間です。「音楽は、精神の中から日常生活の塵埃を掃除する」という言葉がありますが、この言葉は音楽を奏でる側も、聴く側にも当てはまる言葉だと思います。音楽祭当日には会場に足を運んでくださった方と一緒に音楽を通じてこころの大掃除ができればなと感じています。(前田)

JM A T の報告記の中に弘野先生の記事があります。開業医で、被災地の困難な中での救援活動に率先して参加されました事、おおいに感服いたしました。一方永田町では、菅降ろしの風が吹き荒れています。どちらの側も自分勝手な理由ばかりです。この時期に政局などやってる場合ではないという意見もありますが、沈没するような指揮しか執れない船長は、後のことよりもまず辞めてもらう事が戦場の今、最優先事項ではないのでしょうか。(済陽)

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

## 日州医談 医療保険委員会の活動と問題点

集団指導や個別指導などの「保健指導」の概要と医療機関の選定基準、またその問題点について、上田章先生が「指導における立会いの経験」を踏まえて解説してくださいました。

本号 26頁掲載の「保険医療機関の指導計画等打合せ会」と併せて是非ご一読ください。

4 ページ

## 報告 JM AT (Japan Medical Association Team) 活動報告(その2)

宮崎県医師会 JM AT の被災地での活動報告第2弾です。地震発生から約1か月が経過した時点での現地の様子が詳細に報告されています。今回は牧原真治先生(宮崎善仁会病院)、木村俊之先生(宮崎市郡医師会病院)、長野健彦先生(宮崎善仁会病院)、松田俊太郎先生(小林市立病院)、弘野修一先生(ひろの内科クリニック)からの活動報告です。

6 ページ

## 診療メモ 骨粗鬆症

骨粗鬆症に関する最新のトピックスを紹介しつつ、診断方法や治療開始および薬剤選択の基準、また問題となる合併症対策について松本英裕先生がわかりやすく解説してくださいました。

62ページ

日 州 医 事 第 742号 (平成 23年 6 月号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail: office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 和田 俊朗・副 委 員 長 尾田 朋樹

委 員 下園 孝司, 上野 満, 黒川 基樹, 藪内 悠貴, 湯浅美紗子

坪井 康浩, 田坂 裕保, 彦坂ともみ, 川崎真由美, 前田 雄洋

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗, 済陽 英道

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)